

大学等において開講する社会福祉に関する科目の確認に係る指針に基づく情報開示(2017(平成29)年5月1日現在)

設置者に関する情報	①設置者の法人種別 名称 所在地 連絡先	学校法人 学校法人 滋賀学園 〒527-0003 滋賀県東近江市建部北町520の1 電話 0748-23-0858 FAX 0748-22-2687
	②代表者氏名	理事長 森 美和子
	③養成施設以外の実施事業	大学・短期大学・高等学校・中学校・認定こども園 運営
	④財務諸表	→ http://www.newton.ac.jp/?id=areaB6

養成施設に関する情報	①名称 所在地 連絡先	びわこ学院大学 教育福祉学部子ども学科 〒527-8533 滋賀県東近江市布施町29 電話 0748-22-3388 FAX 0748-23-7202
	②代表者氏名	学長 賀川 昌明
	③開設年月日	2014(平成26)年4月1日 [大学開設は、2009(平成21年4月1日)]
	④学則	→ http://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/gakusoku_course4.pdf
	⑤施設・設備の概要	校舎用地 13,910 m ² 運動場 6,194 m ² 合計20,104 m ² 校舎 8,322 m ² …普通教室(12室)・介護実習室・入浴実習室・コンピュータ実習室(3室)・食生活実習室・セミナー室(3室)体育館・図書館(蔵書:約62,000冊)ほか

養成課程に関する情報	①スケジュール(期間) 日程 時間数	4年間 4月1日～3月31日 1,160時間
	②定員	20名(男女共学) → 2ページへ
	③入学までの流れ(募集) 申込・資料請求先	びわこ学院大学入学センター 〒527-8533 滋賀県東近江市布施町29 電話 0748(22)3388 FAX 0748(23)7202 Eメール cl-admin@newton.ac.jp 入学検定料30,000円 入学金230,000円 授業料(年額)830,000円 施設設備費(年額)260,000円 実習費40,000円 その他(実習着・シューズ約10,000円 教科書等約60,000円 諸会費60,000円 等)
	④費用	→ http://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/syakaifukushi.pdf
	⑤シラバス	→ 3ページへ
	⑥科目担当教員 専任教員略歴	→ http://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/syakaifukushi.pdf
	⑦使用教材	→ 4ページへ
	⑧実習施設	→ 5ページへ
	⑨実習内容・概要	→ 6ページへ

実績に関する情報	①卒業生の延べ人数	0名(社会福祉士養成課程)
	②卒業生の進路の状況	307名(平成29年3月卒業生まで) →

2018(平成30)年度びわこ学院大学 入試日程

入試種別	社会人 留学生	エントリー 期間	選考日	内定 発表日	出願期間	試験日	合否発表	手続期間
AO入試		8月21日 ～ 9月1日	9月9日 ～ 9月10日	9月20日	9月25日 ～ 10月5日	* * *	10月16日	10月16日 ～ 11月6日
指定校制		* * *	* * *	* * *	9月25日 ～ 10月6日	10月14日	10月20日	10月20日 ～ 11月10日
公募制(前期)	○ ■	* * *	* * *	* * *	10月23日 ～ 11月6日	11月11日 ～ 11月12日	11月20日	11月20日 ～ 12月14日
公募制(後期)	○	* * *	* * *	* * *	11月24日 ～ 12月4日	12月9日	12月15日	12月15日 ～ 1月11日
自己推薦		* * *	* * *	* * *	11月24日 ～ 12月4日	12月9日	12月15日	12月15日 ～ 1月11日
一般入試(前期)	○ ■	* * *	* * *	* * *	1月5日 ～ 1月22日	1月27日 ～ 1月28日	2月9日	2月9日 ～ 2月23日
一般入試(後期)	○	* * *	* * *	* * *	2月9日 ～ 2月23日	3月2日	3月9日	3月9日 ～ 3月15日
センター利用(A日程)		* * *	* * *	* * *	1月5日 ～ 1月26日	* * *	2月9日	2月9日 ～ 2月23日
センター利用(B日程)		* * *	* * *	* * *	2月9日 ～ 2月23日	* * *	3月5日	3月5日 ～ 3月12日
センター利用(C日程)		* * *	* * *	* * *	2月27日 ～ 3月12日	* * *	3月16日	3月16日 ～ 3月22日

○日程については、社会人入試もあわせて実施

■日程については、外国人留学生入試もあわせて実施

教員数、科目ごとの担当教員名

専任 2名 非常勤(*) 12名

教育内容(時間数)	開講科目名称	担当教員名
人体の構造と機能及び疾病	医学一般	新屋 久幸(*)
心理学理論と心理的支援	基礎心理学	松本 行弘(*)
社会理論と社会システム	家族社会学	パン ジュイン(*)
	地域社会学	パン ジュイン(*)
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	鳥野 猛
	現代社会と福祉Ⅱ	鳥野 猛
社会調査の基礎	社会調査論	平尾 良治(*)
相談援助の基盤と専門職	社会福祉援助技術論Ⅰ	竹澤 賢樹
相談援助の理論と方法	社会福祉援助技術論Ⅱ	竹澤 賢樹
地域福祉の理論と方法	地域福祉論A	平尾 良治(*)
	地域福祉論B	平尾 良治(*)
福祉行政財政と福祉計画	福祉行政財政論	澤 和清(*)
	福祉計画論	澤 和清(*)
福祉サービスの組織と経営	福祉経営論	西島 悟司(*)
社会保障	社会保障論	鳥野 猛
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉学概論	鳥野 猛
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害児・者福祉論	遠藤 六朗(*) 金子 秀明(*)
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	子ども福祉学概論	竹澤 賢樹
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	竹澤 賢樹
保健医療サービス	保健医療サービス論	三嶋 一輝(*)
就労支援サービス	就労支援サービス論	城 貴志(*)
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度論	五百木 孝行(*)
更生保護制度	更生保護制度論	五百木 孝行(*)
相談援助演習	社会福祉援助技術演習Ⅰ	片山 弘紀(*)
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	竹澤 賢樹
	社会福祉援助技術演習Ⅲ	竹澤 賢樹
相談援助実習指導	社会福祉援助技術実習指導Ⅰ	鳥野 猛 竹澤 賢樹
	社会福祉援助技術実習指導Ⅱ	鳥野 猛 竹澤 賢樹
相談援助実習	社会福祉援助技術実習Ⅰ	鳥野 猛 竹澤 賢樹
	社会福祉援助技術実習Ⅱ	鳥野 猛 竹澤 賢樹

使用教材一覧表(受講生が必要とする教材)

	教材名	出版社名	教材使用科目(分野)	
1	医学概論 第5版	中外医学社	医学一般	人体の構造と機能及び疾病
2	はじめて出会う心理学 改訂版	有斐閣アルマ	基礎心理学	心理学理論と心理的支援
3	問い合わせはじめる社会福祉学	有斐閣ストゥディア	現代社会と福祉 I	現代社会と福祉
4	社会調査の基礎(第3版)	中央法規出版	社会調査論	社会調査の基礎
5	相談援助の基盤と専門職 第3版	中央法規出版	社会福祉援助技術論 I	相談援助の基盤と専門職
6	相談援助の基盤と専門職 第3版	中央法規出版	社会福祉援助技術論 II	相談援助の基盤と専門職
7	よくわかる地域福祉 第5版	ミネルヴァ書房	地域福祉論A	地域福祉の理論と方法
8	福祉行財政と福祉計画 第4版	中央法規出版	福祉行財政論	福祉行財政と福祉計画
9	"	"	福祉計画論	福祉行財政と福祉計画
10	はじめての社会保障 第12版	有斐閣アルマ	社会保障論	社会保障
11	よくわかる障害者福祉 第5版	ミネルヴァ書房	障害児・者福祉論	障害者に対する支援と障害者自立支援制度
12	児童や家庭に対する支援と子ども家庭福祉制度 第2版	ミネルヴァ書房	子ども福祉学概論	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
13	公的扶助論 第2版	ミネルヴァ書房	公的扶助論	高齢者に対する支援と介護保険制度
14	保健医療サービス	学文社	保健医療サービス論	保健医療サービス
15	就労支援サービス 第4版	中央法規	就労支援サービス論	就労支援サービス
16	保育相談支援	中央法規出版	社会福祉援助技術演習 II	相談援助演習
17	新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度	中央法規出版	権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度
18	新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度 第4版	中央法規出版	更生保護制度論	更生保護制度論

施設名称	所在地	事業内容
(医療型障害児入所施設・療養介護事業所) びわこ学園医療福祉センター草津	滋賀県草津市 笠山8丁目3番113号	医療型障害児入所施設・療養介護事業所
(医療型障害児入所施設・療養介護事業所) びわこ学園医療福祉センター野洲	滋賀県野洲市 北桜978-2	医療型障害児入所施設・療養介護事業所
(知的障害者生活支援センター) 大津支援センター	滋賀県大津市 馬場二丁目13-50	知的障害者生活支援センター
(障害者支援施設) 彦根学園	滋賀県彦根市 高宮町2671	障害者支援施設
(障害者支援施設) ステップ広場ガル	滋賀県大津市 石山千町270番地の3	障害者支援施設
(社会福祉協議会) 草津市社会福祉協議会	滋賀県草津市 青地町1086番地	社会福祉協議会

実習種別	実習内容・特徴
社会福祉援助技術実習Ⅰ	社会福祉サービスの現状や施設の仕組み、組織のあり方を知るとともに、施設職員の援助関係や具体的な介護サービス提供とチームケアを通じて医療・保健・福祉の連携やあり方を学ぶ。この実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。
社会福祉援助技術実習Ⅱ	社会福祉サービスの現状や施設の仕組み、組織のあり方を知るとともに、施設職員の援助関係や具体的な介護サービス提供とチームケアを通じて医療・保健・福祉の連携やあり方を学ぶとともに、業務や仕事という視点からの考察を図る。この実習を通して、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

専任教員に関する調書

養成施設名	びわこ学院大学 教育福祉学部子ども学科		
氏名	鳥野 猛		
生年月日	昭和 43 年 月 日		年齢
最終学歴	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科部社会福祉学専攻 修了		
教育歴・職歴	名称	教育内容又は業務内容	年月
	愛知県尾張事務所民生課	生活保護ケースワーカー	平成 6 年 2 月～ 平成 8 年 3 月
	日本福祉大学中央福祉専門学校	専任講師（公的扶助論、老人福祉論）	平成 8 年 4 月～ 平成 12 年 3 月 (4 年 0 月)
	滋賀文化短期大学 (現 びわこ学院大学短期大学部) 人間福祉学科	助教授（法と社会、老人福祉論、社会福祉援助技術演習Ⅲ、Ⅳ、社会福祉援助技術現場実習Ⅰ、Ⅱ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ、Ⅱ 他）	平成 12 年 4 月～ 平成 21 年 3 月 (9 年 0 月)
	びわこ学院大学教育福祉学部 子ども学科	准教授（人権教育、現代社会と福祉Ⅰ、現代社会と福祉Ⅱ、社会保障論、公的扶助論、子ども学総合演習、子ども学卒業研究、他）	平成 21 年 4 月～ 平成 21 年 3 月
	びわこ学院大学教育福祉学部 子ども学科	教授（現代社会と福祉Ⅰ、現代社会と福祉Ⅱ、社会保障論、高齢者福祉学概論、社会福祉援助技術実習指導Ⅰ、社会福祉援助技術実習Ⅰ、他）	平成 25 年 4 月～ 現在に至る
資格・免許・学位	名称	取得機関	取得年月日
	修士（社会福祉学）	日本福祉大学	平成 6 年 3 月

専任教員に関する調書

養成施設名	びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科		
氏名	竹澤 賢樹		
生年月日	昭和 44 年 月 日		年齢
最終学歴	福井県立大学大学院 看護福祉学研究科 社会福祉学専攻 修了		
教育歴・職歴	名称	教育内容又は業務内容	年月
	福井県医療福祉専門学校	専任教員	平成 22 年 4 月～ 平成 25 年 3 月
	北陸学院大学	非常勤講師（「相談援助の基盤と専門職」 「スクールソーシャルワーク教育課程」）	平成 22 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	アイビー医療福祉専門学校 保育科	非常勤講師（「家族援助論」）	平成 17 年 4 月～ 平成 22 年 3 月
	びわこ学院大学教育福祉学部 子ども学科	講師 (「家族援助論」「子ども福祉学概論」「社会福祉 援助技術論」「公的扶助論」「社会福祉援助技術 実習指導 I」「社会福祉援助技術実習 I」他)	平成 26 年 4 月～ 現在に至る
資格・免許・学位	名称	取得機関	取得年月日
	修士（社会福祉学）	福井県立大学	平成 19 年 3 月
	社会福祉士		平成 14 年 4 月

[シラバス参照](#)

講義名	医学一般	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	2年次春学期	
受講者制限	子ども学科	

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①人体の構造と機能について理解し、発展的な学習や応用につなぐことができる。 ②人の健康と疾病について理解し、説明することができる。 ③今日の医学・医療の現状を学び、これからの課題や問題点の考察につなぐことができる。
授業概要	医学一般では、人体の構造と機能、主な疾患とその予防・治療・リハビリテーション、健康増進等についての基本的知識を修得する。また、社会保障制度と医療保障制度、保健医療対策などの基本的な事項を学び、さらに、「医の哲学」として「医学とはなにか」「健康とはなにか」「病気とはなにか」について問い合わせ、医の倫理、生命倫理について考察し、理解を深める。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	医学とは何か その歴史・発展と医の倫理	【医学とは、医療とは、歴史、学修法】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第2回	人体の構造と機能 ①	【骨、筋肉、血液、循環、呼吸器系】	復習：(60分) 次回の予習、課題レポート作成：(180分)
第3回	人体の構造と機能 ②	【消化器、泌尿器、内分泌系】	復習：(60分) 次回の予習、課題レポート作成：(180分)
第4回	人体の構造と機能 ③	【神経、生殖、皮膚、感覚器系】	課題レポート作成 第1～4回授業内容の復習 (180分)
第5回	ふり返りとまとめ ①	【小テスト】	範囲：第1～4回授業内容、ふり返り：(60分) 次回の予習：(120分)
第6回	臨床医学総論 主要な症状	【主要症状】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第7回	臨床医学各論 主要な疾患とその対応 ①	【呼吸、循環器系】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第8回	臨床医学各論 主要な疾患とその対応 ②	【消化器、代謝、内分泌、腎・泌尿器系】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第9回	臨床医学各論 主要な疾患とその対応 ③	【血液・造血器、神経・筋、精神疾患】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第10回	臨床医学各論 主要な疾患とその対応 ④	【アレギー性、膠原病、感染症、中毒性疾患】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第11回	臨床医学各論 主要な疾患とその対応 ⑤	【運動器、皮膚、婦人科・妊産婦疾患】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)
第12回	臨床医学各論 主要な疾患とその対応 ⑥	【小児、眼、耳、メタボリックシンドrome】	第6～12回授業内容の復習：(180分)
第13回	ふり返りとまとめ ②	【小テスト】	範囲：第6～12回授業内容の復習、ふり返り：(60分) 次回の予習：(120分)
第14回	人口統計と疾病の変化、健康状態と受療	【人口統計、健康増進、社会】	復習：(60分) 次回の予習：(120分)

	状況、社会保障と医療保障	保障制度】	
第15回	保険医療対策、医事法・薬事法・衛生法規	【母子・老人・精神保健、社会復帰、医事・薬事法】	復習：（60分） 次回の予習：（120分）
第16回	障害の概要	【健康・疾病・障害・老化】	復習：（60分） 次回の予習：（120分）
第17回	リハビリテーションの概要	【リハビリテーション】	復習：（60分） 次回の予習：（120分）
第18回	国際生活機能分類の考え方と概要	【国際生活機能分類(ICF)、多職種協働、連携】	全回の復習：（180分）

テキスト	[題] 医学概論（6版） [著] 北村 諭 [出] 中外医学社
参考書・参考資料等	[題] 医学概論、[著] 日野原重明、[出] 医学書院 [題] 一步一步学ぶ生命科学、[監] 日本生理学会教育委員会、[出] 女子栄養大学 [題] のほほん解剖生理学、[著] 玉先生、[出] 永岡出版 [題] 新版 からだの地図帳、[著] 佐藤達夫（監）、[出] 講談社 [題] 新版 病気の地図帳、[著] 山口和克（監）、[出] 講談社 [題] 医学概論、[著] 川喜田愛郎、[出] ちくま学芸文庫 必要に応じ参考資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	定期試験 … (40%) 小試験・予習テスト … (30%) 平常点(レポート・受講態度等) … (30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
その他特記事項	講義、反転授業、予習・復習テスト方式により学習
備考	授業用URLは授業時に開示

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	基礎心理学
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 松本 行弘	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	心理学についての基本的概念を学び、人の行動に対する理解と関心を高めることができる。
授業概要	心理学が対象とする学問領域を提示し、そこで用いられる主要な概念についての基礎知識を概説する。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに（オリエンテーション）	【自己紹介】 【授業が何】 【受講契約など】	予習：テキストの「はじめに」を読み、全体に目を通す（180分）
第2回	心理学とは何か	【対象】 【行動】 【接近方法】	復習：前回の振り返り（180分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第3回	心の進化と発達	【認知機能】 【言語】 【発達】 【愛着】	復習：前回の振り返り（60分） 予習：次節のテキスト講読（60分）
第4回	ライフサイクル	【人生周期】 【発達課題】 【高齢者の心理】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第5回	動機づけと情動	【動機】 【情動】 【葛藤と欲求不満】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第6回	性格	【類型論と特性論】 【性格検査】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第7回	知能	【二つの知能】 【知能検査】 【創造性】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第8回	メンタルヘルスと心理療法	【ストレス】 【カウンセリング】 【行動療法】	復習：前回の振り返り（180分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第9回	感覚と知覚	【五感】 【弁別閾】 【錯視】 【恒常性】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第10回	記憶	【忘却】 【短期記憶】 【長期記憶】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第11回	学習と思考	【刷り込み】 【条件付け】 【般化と弁別】 【問題解決】 【概念と言語】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第12回	脳と心	【高次脳機能】 【ニューロン】 【脳機能と情報処理】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第13回	脳損傷と心の働き	【心的機能の障害】 【言語機能】 【健忘】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第14回	社会の中の人	【同調行動】 【他者認知】 【先入観と偏見】	復習：前回の振り返り（120分） 予習：次節のテキスト講読（120分）
第15回	心と社会	【社会的ジレマ】 【閉かれた社会】	復習：前回の振り返りとまとめ（180分）

テキスト	[題] 『はじめて出会う心理学 改訂版』 [著] 長谷川寿一・他 [出] 有斐閣アルマ ¥2,000+税
参考書・参考資料等	『図説心理学入門』 齊藤勇編 誠信書房 ¥1,800+税
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点(受講態度・レスポンスペーパー等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	テキスト代 : ¥2,000+税
その他特記事項	各講義終了前の5分程度でレスポンスペーパーを書き、提出する。
備考	テキストは必ず購入すること。

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	家族社会学
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3年次春学期
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ パン ジュイン	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①家族社会学の基本概念と理論を習得することができる。 ②現代社会における家族問題と家族福祉の現状と課題についての理解を深めることができる。
授業概要	本講義では、「現代社会と家族」をテーマに授業を進める。「家族」は私たちにとって、身近な存在であるものの、いざ「家族とは?」と聞かれると戸惑うだろう。というのは、現代社会において、社会構造の急激な変化にともない、「家族の崩壊」、「家族の危機」につながりかねないさまざまな家族問題が出現したからである。本講義では、家族に関する一般的な概念と諸理論を解説し、家族関係に関するいくつかのトピックスを取り上げ、個人と家族、そして家族と地域社会の諸関係に焦点を当て、これから家族のあり方について考える。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション～家族とは？～	【授業の内容および進め方】	予習：シラバスを読んで内容を理解する（30分）
第2回	現代社会における家族関係の変容	【家族関係の変容】	家族社会学の研究領域について調べる（90分）
第3回	日本の世代構成の変化	【世帯構成】	家族の定義について調べる（90分）
第4回	家族の類型と分類	【類型と分類】	類型と分類の違いについて調べる（60分）
第5回	家族の構造と機能	【構造と機能】	家族の機能について調べる（90分）
第6回	異性交際とパートナー選択	【異性関係】	付き合いの意味について考える（90分）
第7回	結婚の個人的社会的機能	【人間関係】	結婚の意味について考える（90分）
第8回	主婦とは何か？	【主婦の誕生】	日本の主婦化について調べる（90分）
第9回	共働きと子育て	【子育て】	日本の共働きと子育ての現状について調べる（90分）
第10回	家事と仕事	【家事】	家事は仕事なのかについて考える（90分）
第11回	子どもの社会化	【社会化】	社会化の概念について調べる（90分）
第12回	結婚と離婚	【家族関係】	日本の結婚率と離婚率を調べる（90分）
第13回	家族関係の変容とセーフティネット	【セーフティネット】	家族セーフティネットについて調べる（60分）
第14回	地域社会と家族のつながり	【地域社会と家族】	家族と近隣社会について調べる（90分）
第15回	まとめ：家族社会学の射程	【現代の家族】	今までのノートを目を通しておく（120分）

テキスト	適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	①落合恵美子著『21世紀家族へ～家族の戦後体制の見かた・越えかた～』2008年有斐閣 ②井上真理子編『家族社会学を学ぶ人のために』2010年世界思想社 ③千田有紀著『日本型近代家族～どこから来てどこへ行くのか～』2011年勁草書房
上記到達目標の評価の方法	期末レポート…(70%) 平常点…(30%)

履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	地域社会学
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3年次秋学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
准教授	◎ パン ジュイン	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	都市と農村の関係、地域社会学に関する基礎的な知識を得ることができる。
授業概要	本講義では、都市-農村関係の地域社会学を概説する。具体的には、都市と農村に関する社会学の基礎理論を検討し、まちづくり、エスニシティ、過疎化、地方創生と住民自治などのトピックスを中心に分析を行う。また、研究方法としてのフィールドワークを説明し、滋賀、京都でフィールドワークを実施する。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	講義の進め方について説明	シラバスを読んで講義の流れを理解する。（30分）
第2回	地域社会学の視座	地域と地域社会	「地域」の意味を調べる（90分）
第3回	日本農村社会学の展開	農村社会学	参考書を読む（90分）
第4回	シカゴ学派の都市社会学	都市社会学	参考書を読む（90分）
第5回	現代の農村と農民	農村と農民	参考書を読む（90分）
第6回	エスニックコミュニティー	エスニックコミュニティー	エスニックコミュニティーの概念を調べる（90分）
第7回	地域創生と住民自治	分権と自治	参考書を読む（90分）
第8回	子どもと地域社会	学校と地域	参考書を読む（90分）
第9回	限界集落の現在	限界集落	参考書を読む（90分）
第10回	まちづくり／むらおこし	まちづくり／むらおこし	参考書を読む（90分）
第11回	グローバリゼーションとローカリティ	グローバリゼーションとローカリティ	グローバリゼーションとローカリティの意味を調べる（90分）
第12回	研究方法としてのフィールドワーク	フィールドワーク	参考書を読む（90分）
第13回	フィールドワーク実施①（グループで行う）	フィールドワーク	グループ討論を経てテーマを決定する（120分）
第14回	フィールドワーク実施②（グループで行う）	フィールドワーク	グループ討論を経てテーマを決定する（120分）
第15回	まとめ（グループ発表）	プレゼンテーション	レジュメ及びPPT作成（120分）

テキスト	適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	地域社会学会編 『新版キーワード地域社会学』 ハーベスト社 2011年 木下謙治 篠原隆弘 三浦典子編 『地域社会学の現在』 ミネルヴァ書房 2002年 森岡清志編 『地域の社会学』 有斐閣 2008年 佐藤郁哉著 『フィールドワーク～本を持って街へ出よう～』 新曜社 1992年 櫻井厚著 『インタビューの社会学～ライフヒストリーの聞き方～』 せりか書房 2002年
上記到達目標の評価の方法	課題／発表／レポート…(80%)

平常点…(20%)

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	現代社会と福祉 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次春学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①学生個々がいかに福祉的恩恵を受けているのか、日常生活の中から見つけ出し課題を整理することができる。 ②「格差」をキーワードに「不公平」や「平等」という考え方と、「福祉」的発想との整理をすることができる。
授業概要	社会の発展とともに、私たちの生活は豊かになると同時にさまざまな面で社会的諸問題が広がり、社会福祉の充実が重要な課題となってきている。それに対応して社会保障・社会福祉のシステムも変更されてきている。そこで、いじめや虐待などの社会的諸問題の具体的な姿、およびそれへの対策体系の現状を分析し、その問題の背後に潜む本質的問題をつかむ力を身につける。あわせて社会福祉とは何かについて基礎的かつ理論的な見通しをたてつつ、「格差」と私たちの暮らしを考える。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	私たちの暮らしと社会問題 ①	【私たちはどんな福祉的恩恵を受けているのか】	予習：福祉とは何か、について考察する(90分) 復習：自らの生活と福祉の課題を整理する(90分)
第2回	私たちの暮らしと社会問題 ②	【福祉とは何、そしてどこまでを範囲とするのか】	予習：福祉領域のすそ野を理解する(90分) 復習：福祉領域の範囲の広がりを整理する(90分)
第3回	社会福祉の組織、行政機関の仕組み ①	【厚生労働省の組織図】	予習：福祉行政の図をイメージする(90分) 復習：住んでいる地域の行政PR誌をみる(90分)
第4回	社会福祉の組織、行政機関の仕組み ②	【各市町村、福祉事務所の機能】	予習：地域の行政機関を訪問する(90分) 復習：どんな問題がどこの機関につながるのか
第5回	社会福祉の財源構成 ①	【福祉にどれだけの税金が投入されているのか】	予習：福祉予算を調べる(90分) 復習：予算の使い道や課題を理解する(90分)
第6回	社会福祉の財源構成 ②	【消費税が上がった分で生活は豊かになるのか】	予習：他の予算との比較をする(90分) 復習：消費税との関係を考察する(90分)
第7回	社会保障と社会福祉との関係	【金で解決できるものと、できないもの】	予習：税と社会保障の考え方を理解する(90分) 復習：課題の考察(90分)
第8回	社会福祉とは何か？私たちの暮らしの中から	【最大多数の最大幸福は可能なのか】	予習：「公平」、「平等」を考える(90分) 復習：「格差」との関係で考察する(90分)
第9回	社会福祉の範囲	【引きこもりは福祉の範疇なのか】	予習：引きこもりと貧困との関係(90分) 復習：ビデオを振り返り、課題を整理する(90分)
第10回	社会福祉と介護との関係	【介護保険法制度の仕組みとこれからの方針】	予習：介護の現状を整理する(90分) 復習：介護の課題を社会福祉との関係から理解する(90分)
第11回	社会福祉と保育との関係	【こども園や子ども手当をどうみる】	予習：子どもと福祉について考える(90分) 復習：子どもと福祉について考える(90分)
第12回	社会福祉と教育との関係	【教育と福祉の類似性】	予習：教育現場での問題を整理する(90分) 復習：教育現場での課題や福祉との接点を理解する(90分)
第13回	社会福祉と私たちの暮らし	【財源と福祉、社会保障の在り】	予習：福祉の課題を整理する(90分)

	との関係 ①	方】	復習：解決策を考える(90分)
第14回	社会福祉と私たちの暮らし との関係 ②	【みんなの家族と福祉】	予習：福祉の課題を整理する(90分) 復習：解決策を考える(90分)
第15回	まとめ	【「格差」と「福祉」の関係】	予習：レポートの素材を調べる(90分) 復習：レポート対策(90分)
テキスト		<p>[題]『問い合わせはじめる社会福祉学—不安・不利・不信に挑む』 [著] 坪洋一 [出]有斐閣ストゥディア、2016年。</p>	
上記到達目標の評価の方法		期末レポート試験…80% 平常点(受講態度等)…20%	
教材費用・実習費用等の負担費用		特になし	

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	現代社会と福祉Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 「予測できる災害」と「予測できない災害」への「備え」について理解できる。 2. 阪神・淡路大震災と東日本大震災との比較から、しかるべき「備え」ができる。 3. 保育所・幼稚園、学校等における防災知識を学ぶことができる。
授業概要	大規模災害が続くわが国において、保育所や幼稚園、小学校等の福祉・教育機関で働くことが予想される学生に対し、これらの施設が大規模災害時にどのような「備え」が必要であり、また過去の災害のなかから何を教訓として導き出せるのか、図上訓練やハザードマップ作り等を通じて、災害時への「備え」を図る。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【大規模災害、地震、津波、浸水】	予習：最近の災害を振り返る(90分) 復習：災害への「備え」について整理する(90分)
第2回	最近の大規模災害の特徴①	【地震、津波】	予習：「予測できる災害」についての知識(90分)復習：「水害」、「雪害」への備え(90分)
第3回	最近の大規模災害の特徴②	【浸水、噴火】	予習：予測できない災害について整理する(90分)復習：「地震」、「噴火」への備え(90分)
第4回	東日本大震災の概要①	【未曾有の大災害、地震、津波】	予習：東日本大震災の被害規模(90分) 復習：東日本大震災の被害状況と課題(90分)
第5回	東日本大震災の概要②	【原発、放射能汚染】	予習：東日本大震災の課題(90分) 復習：復旧・復興の課題(90分)
第6回	保育所・幼稚園での津波事故判例の整理①	【幼稚園での津波事故判例】	予習：子どもにとって大規模災害の何が問題(90分) 復習：専門家の指導義務・避難させる義務(90分)
第7回	保育所・幼稚園での津波事故判例の整理②	保育所・幼稚園での津波事故判例の整理②	予習：保育所での避難のあり方(90分) 復習：保育所での防災の課題(90分)
第8回	大規模災害からどう避難弱者を守るのか DVD	【災害弱者、避難弱者】	予習：避難弱者とは誰か(90分) 復習：高知県での避難のあり方と仕組み(90分)
第9回	阪神・淡路大震災の特徴①	【都市型の直下型地震、火災】	予習：阪神・淡路大震災の被害規模(90分) 復習：阪神・淡路大震災の被害状況と課題(90分)
第10回	阪神・淡路大震災の特徴②	【都市部、復興・復旧】	予習：阪神・淡路大震災の課題(90分) 復習：復旧・復興の課題(90分)
第11回	事業継続計画と図上訓練①	【図上訓練とは、BCP】	予習：図上訓練とはなにか(90分) 復習：どこにシーンが書ききれなかったか(90分)
第12回	事業継続計画と図上訓練②	【都市部、復興・復旧】	予習：図上訓練の課題(90分) 復習：どこが最も難しかったか(90分)
第13回	保育所・幼稚園での「避難」のあり方	【避難、災害弱者】	予習：保育所・幼稚園での避難のあり方(90分) 復習：避難するまでの課題(90分)

第14回	避難弱者という視点と、「避難」の視点	【避難、避難弱者、災対法】	予習：地域のハザードマップ作り(90分) 復習：地域独自の地理的リスクが理解できたか(90分)
第15回	まとめ	【原発再稼動、原子力】	予習：大規模災害への「備え」について(90分) 復習：レポート課題へのテーマ設定(90分)

テキスト	「災害・復興学習 福島学プログラム」NPO法人福島学グローバルネットワーク、2016年。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…50% ミニレポート…30% 平常点…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会調査論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	2年次春学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 平尾 良治	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会調査の意義と目標、方法などを理解して、教育・福祉のデータの意味を理解することができる。 ②子どもや家族の生活実態を明らかにする調査票を作成することができる。 ③具体的なデータの集計作業を通して、調査データの分析を理解することができる。
授業概要	社会的現実を把握するときには、一定の理論や仮説をもちながら、対象にアプローチし、現象を支配している何らかの法則を明らかにすることが求められます。その有効な技術として「社会調査」があります。ここでは社会的現実の一つである教育・福祉問題を対象として、質的調査と量的調査の具体的な方法を学びます。受講生とともに教育・福祉現場の実態を明らかにする「調査票」づくりをおこないます。同時に具体的なデータの分析作業を行います。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	授業の進め方	予習：シラバスを熟読（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第2回	社会的現実を見る視点	弱さのちから、べてるの家、概念装置	予習：鷺田清一『弱さのちから』を読む（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第3回	社会（福祉）調査とは何か（社会福祉士の役割と社会調査）	アンケート年鑑、教育アンケート調査年鑑、社会福祉士、貧困調査、ニーズ調査	予習：年鑑・教育アンケートを検索（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第4回	社会（福祉）調査の歴史	ブース、ラウントリー、貧困線、ライフサイクル	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第5回	社会調査の概要	量的・質的調査、調査の手順、分析方法、EPB、アカウンタビリティ	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第6回	量的調査の特徴と種類	目的、対象、方法、所在源、官庁統計 統計法	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第7回	調査票の作成方法と留意点	サンプリング、概念、概念操作、調査項目	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第8回	調査仮説と調査票づくり	調査仮説、作業仮説、変数、ワーティング	予習：関心のある領域からテーマを作成（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第9回	調査票の配布と回収・点検	郵送、留め置き、点検、コードリング	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第10回	量的調査におけるデータ分析 1	基本統計量、単純集計、クロス集計	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第11回	量的調査におけるデータ分析 2	ちらばり、相関係数、疑似相関関係	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第12回	質的調査の特徴と種類	参与観察、ドキュメント分析、KJ法	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第13回	質的調査の調査方法、調査の実	雑誌の編集方針、ポランティアの集い・声、	予習：テキスト該当箇所を読了（90分）

	施	KJ法	復習：復習プリントに取り組む（90分）
第14回	社会調査における倫理と個人情報の保護	倫理綱領、FFP、インフォームドコンセント	予習：テキスト該当箇所を読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）
第15回	社会調査におけるITの活用	個人情報、情報保護に関するガイドライン	予習：情報保護法、疫学臨床倫理指針読了（90分） 復習：復習プリントに取り組む（90分）

テキスト	[題] 『社会調査の基礎（第3版）』 [著] 社会福祉士養成講座編集委員会 編著 [出] 中央法規出版 2014
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末筆記及び期末実技試験…(60%) 平常点(受講態度等)…(20%) 復習問題…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術論 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①相談援助における価値を理解し、「人権尊重」「社会正義」「多様性の尊重」について説明できる。 ②相談援助の概念と範囲を理解できる。 ③相談援助専門職としての倫理について理解できる。
授業概要	講義を通じて、社会福祉援助技術の実践において必要な価値、知識、技術について学習する。また、対人援助の場面において「人権尊重」「社会正義」をいかに保障するのかについて学習する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション（本科目の位置づけと概要）	【ソーシャルワーク、相談援助、】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第2回	ソーシャルワーカーの役割と意義	【社会福祉士、保育士、相談援助職】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第3回	相談援助の概念	【ソーシャルワーク専門職のグローバル定義、人権、多様性の尊重】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第4回	相談援助の構成要素	【クライエント、ソーシャルワーカー、ニーズ、社会資源】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第5回	相談援助の理念①（人権と社会正義）	【人権、社会正義、差別、抑圧】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第6回	相談援助の理念②（利用者本位と尊厳の保持）	【本人の意思、人間の尊厳、援助観】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第7回	相談援助の理念③（自己決定）	【自己決定、判断能力、決定のプロセス】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第8回	相談援助の理念④（社会的包摂）	【社会的排除、ノーマライゼーション、社会的包摂】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第9回	ソーシャルワークにおける権利擁護の意義	【人権侵害、アドボカシー、エンパワメント、社会変革】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）
第10回	相談援助の形成過程	【宗教心、慈善活動、組織化、ケースワーク、ソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所を読む（90分） 復習：課題プリント（90分）

第11回	専門職と倫理	【専門職、倫理、倫理綱領、職能団体】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第12回	福祉行政における専門職	【福祉行政職、社会福祉法、福祉事務所】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第13回	民間施設と組織における専門職	【社会福祉施設、社会福祉機関、専門職の役割】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第14回	専門職の倫理と倫理的ジレンマ	【葛藤、倫理的判断、判断プロセス】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第15回	総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容	【地域生活、総合相談、多職種連携】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)

テキスト	[題] 『相談援助の基盤と専門職 第3版』 [出] 中央法規
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術論Ⅱ	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	3年次秋学期	
受講者制限	なし	

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①相談援助における人と環境の交互作用に関する理論について理解できる。 ②相談援助の対象とさまざまな実践モデルについて理解できる。 ③相談援助の過程とそれにかかる知識と技術について理解できる。
授業概要	講義を通じて、社会福祉援助技術の実践において必要な価値、知識、技術について学習する。また、対人援助に必要なセンスについても学習する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	社会福祉援助技術の体系	【ケースワーク、グループワーク、コミュニティーウーク、関連援助技術】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第2回	地域援助技術（コミュニティーウーク）	【地域、自発性】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第3回	地域援助技術の展開過程	【地域診断】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第4回	社会福祉調査法	【調査形態】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第5回	社会福祉運営管理	【社会福祉法人、NPO法人】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第6回	社会福祉活動法	【代弁、政策提言】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第7回	社会福祉計画法	【社会福祉計画】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第8回	社会資源の概要	【フォーマル、インフォーマル】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第9回	ネットワーキング	【共生社会、組織化】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第10回	ケアマネジメント	【ケアマネージャー】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第11回	スーパービジョン	【スーパーバイザー、スーパーバイジー】	予習：テキスト指定箇所を読む

			(90分) 復習：課題プリント(90分)
第12回	コンサルテーション	【他領域、コンサルタント】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第13回	カウンセリング	【傾聴、受容】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第14回	コーチング	【コーチング、ティーチング】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第15回	倫理綱領	【倫理綱領、行動規範】	予習：テキスト指定箇所を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)

テキスト	[題] 『相談援助の理論と方法 I 第3版』 [出] 中央法規 2015年
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	地域福祉論 A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3年次春学期
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 平尾 良治	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	① 地域福祉の基本的な考え方（定義、人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂など）について理解する。 ② 地域福祉の対象と主体、および地域福祉法について理解する。 ③ 地域福祉にかかる組織、団体及び専門職や地域住民の役割を理解する。 ④ 地域福祉におけるネットワーキング（多職種・多機関との連携）の意義と方法及びその実際について理解する。 ⑤ 地域福祉推進の方法（ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法）について理解する。
授業概要	この授業では、上記の到達目標にあるように、地域福祉の基本的考え方、地域福祉の主体と対象、地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民、地域福祉の推進方法について理解を深めることを主眼に置いている。地域福祉は日本では1960年代後半から広がってきたが、2000年の社会福祉法（社会福祉事業法改正）以降は社会福祉の基軸として展開されてきている。ここでは、地域福祉の理念や概念、推進方法などについて、テキストをもとにしながらも滋賀県内の取り組みをmajえで、今日的な意義と課題について明らかにする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	地域福祉の基本的な考え方	【地域福祉とは、地域福祉の主体・対象】	予習：シラバス読了（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第2回	地域福祉の理念	【地域福祉の概念、範囲、役割】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第3回	地域福祉理論の分類	【鈴木五郎・牧里毎治・岡本栄一の分類】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第4回	福祉コミュニティ志向の地域福祉理論	【地域社会の構造、社会関係のあり方、予防機能】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第5回	在宅福祉志向の地域福祉理論	【地域住民のニーズ、住民参加、予防・環境改善】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第6回	政策・制度志向の地域福祉理論	【国・自治体の制度拡充、住民の権利性、住民自治】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第7回	地域福祉の構成要素	【直接的なサービス、総合的な制度対応、コミュニティづくり、住民参加の人づくり】	予習：予習シート（90分）

			復習：ドリル・レポート (90分)
第8回	地域社会の変容と分析枠組み	【コミュニティの2側面、奥田道広の4類型、金子勇のモデル（関係・物財・意識・行事）、アクション】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第9回	社会福祉調査法	【ニーズ、生活問題、量的調査、質的調査】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第10回	地域福祉の推進方法①	【コミュニティーワーク、コミュニティオーガニゼーション】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第11回	地域福祉の推進方法②	【コミュニティーソーシャルワーク、社会資源の活用・調整・開発、アウトーチ】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第12回	コミュニティーづくりと福祉コミュニティー	【コミュニティー、町内会・自治会、小学校区、小地域福祉活動、つながり】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第13回	地域福祉の関係機関と人材と役割	【関係機関、N P O、専門職、民生・児童委員、ボランティア】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第14回	地域福祉のサービス提供組織とその運営・連携・協働・ネットワーキング	【地域福祉推進の組織、団体、社会福祉士、地域福祉活動専門員、介護相談員】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
第15回	地域トータルケアシステムの構築と地域福祉サービスの評価	【地域トータルケアの要素、構築方法、ストラクチャー評価、プロセス評価】	予習：予習シート（90分） 復習：ドリル・レポート（90分）
テキスト	[題] 『よくわかる地域福祉 第5版』 [著] 上野谷ほか [出] ミネルヴァ書房		
参考書・参考資料等	・『社会福祉の基礎理論』 林・安井編著 ミネルヴァ書房 ・隨時、授業で紹介する。		
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(60%) レポート…(20%) 班討議・役割 …(20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	「現代社会と福祉Ⅰ」「人間福祉概論」		

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	地域福祉論B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3年次秋学期
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 平尾 良治	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①孤立化した家庭、つながりのない地域で起きている貧困の連鎖、子ども虐待、障害者家庭の心中事件、高齢者虐待の背景にある地域課題を自分たちの問題として客観的にとらえることができる。 ②地域で起きている諸課題を「個人の問題」としてではなく、社会の構造から生まれる問題としてとらえ、「貧困・生活問題」として整理することができる。 ③この諸課題を地域福祉活動の視点から捉え、教育・福祉の専門職として地域の社会的資源を活用して、解決する方法を考えることができる。
授業概要	高齢者の孤独死、児童虐待、障害者世帯の介護疲れなど地域にはさまざまな生活困難な状態がある。2000年の社会福祉法の施行を契機に多様な地域福祉活動が広がってきた。その中で、住民が主人公になって取り組む地域福祉活動に視点をあてながら、保育士や教育者が行政機関や福祉施設の専門職とどのような関わりをもち、どのような役割を果たすのかを検討する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【協同自律学習、概念装置、役割分担、地域福祉とは】	予習：シラバス読了・問題意識の整理（90分） 復習：レポート（90分）
第2回	社会構造の変化と深刻化する生活問題	【産業構造の変化、家族形態の変化、地域環境の変化、孤独死、子どもの虐待、高齢者虐待】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第3回	子どもの危険回避と生活自己責任	【間違いだらけの防犯知識、子どもの事件、マップづくり、地域ぐるみの活動、住民自治】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第4回	貧困・孤立のなかにある家族から「つながりあう家族」へ	【子どもの貧困率、世帯収入の減少、寄り添う援助、】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第5回	本当に求められている地域福祉活動とは	【福祉国家から福祉社会へ、社会福祉構造改革、社会福祉法、地域福祉の推進、課題提起】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第6回	事例1：地域福祉の実際（子育てのサロン）	【マンネリ化、運営方法の変更、参加者の広がり】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第7回	事例2：地域福祉の実際（赤ちゃん訪問）	【共感の輪、子育てサロン、赤ちゃん訪問の実際】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第8回	事例3：地域福祉の実際（引きこもりへの挑戦）	【問題発見、居場所づくり、専門職による支援、活動の場づくり】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第9回	事例4：地域福祉の実際（生協のくらしの助け合い活動）	【購買生協への信頼、仲間づくり、学習重視】	予習：配付資料（90分）

			復習：レポート（90分）
第10回	事例5：地域福祉の実際（滋賀県社協えにし活動）	【子ども食堂、老いも若きも、自由に入りできる居場所、豊かなつながり、あたたかい地域を育てる】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第11回	地域福祉活動計画の策定と活動展開、総括1（草津市Y学区）	【社会福祉法、国・県・市の福祉計画、社会福祉協議会の地域福祉活動計画、学習会・研修会を力に、リーダーの役割】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第12回	地域福祉活動計画の策定と活動展開、総括2（草津市K学区）	【社会福祉法、国・県・市の福祉計画、社会福祉協議会の地域福祉活動計画、熱い思いをつなぐキーマンの存在】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第13回	地域福祉活動計画の策定と活動展開、総括3（草津市S学区）	【社会福祉法、国・県・市の福祉計画、社会福祉協議会の地域福祉活動計画、調査・データにもとづく自分たちのまちづくり、数値管理】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第14回	保育園が取り組む地域福祉活動・地域ネットワーク活動	【地域の子育て拠点、乳幼児検診、保健所、保育所、家族、専門職としての保育士】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）
第15回	住民の主体的参加と住民自治による福祉のまちづくり	【孤立無援、孤立化、子どもの貧困、つながり】	予習：配付資料（90分） 復習：レポート（90分）

テキスト	毎回資料を配付する。
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・『社会福祉の基礎理論』 林・安井編著 ミネルヴァ書房 2011年 ・『よくわかる地域福祉第5版』 上野谷ほか編著ミネルヴァ書房 2012年 ・隨時、授業で紹介する。
上記到達目標の評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 … (60%) ・班討議・役割 … (20%) ・レポート … (20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	地域福祉論A

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	福祉行財政論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	2年次秋学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 澤 和清	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①福祉行財政の実施体制について理解できる ②福祉行財政の実際にについて理解できる ③福祉の相談システムについて理解できる
授業概要	本講義では、「福祉行政、福祉財政とは何か」の基本理解から始め、国と自治体との関係、行政の仕組みなど福祉行政について解説するとともに、福祉の給付や仕組みを支える国・地方自治体別の財政の仕組みについて概説する。加えて、標準的な福祉の相談過程と、これを支える専門機関や地域レベルでの相談システムについて概説する。教科書以外に必要に応じて資料を配布する。また、授業毎に「本日の学習ポイント」を配付するとともに、アクションペーパー（講義に関する感想・意見・質問）の提出を求め、次回の授業でフィードバックする。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイドンス		
第2回	福祉行政、福祉財政とは何か	【福祉政策】 【財源】	復習：配付資料を復習する（90分）
第3回	福祉行政における国と地方自治体の関係、役割	【地方分権】 【法定受託事務】 【三位一体の改革】	予習：教科書P 35～41を読む（90分）
第4回	社会福祉の法制度	【法と運用】	予習：教科書P 42～46を読む（90分）
第5回	福祉行政の組織	【社会福祉の実施体制】	予習：教科書P 47～55を読む（90分）
第6回	社会福祉基礎構造	【社会福祉関係法】 【社会福祉基礎構造改革】 【措置から契約へ】	予習：教科書P 56～64を読む（90分）
第7回	福祉財政（1）－財政と社会福祉－	【財政】	予習：教科書P 65～70を読む（90分）
第8回	福祉財政（2）－国の財政－	【社会保障関係費と社会保障給付費】	予習：教科書P 71～73を読む（90分）
第9回	福祉財政（3）－地方自治体の財政－	【地方公共団体の歳出と民生費】	予習：教科書P 74～77を読む（90分）
第10回	福祉財政（4）－民間の社会福祉財政、社会福祉サービスにおける利用者負担－	【共同募金】 【応益負担】 【応能負担】	予習：教科書P 78～80を読む（90分）
第11回	社会福祉基礎構造改革と相談過程・相談体制	【社会連帯】 【ワンストップサービス】 【連携】	予習：教科書P 81～89を読む（90分）
第12回	福祉行政の専門諸機関	【福祉事務所などの専門機関】	予習：教科書P 90～95を読む（90分）
第13回	地域の相談システム	【地域包括支援センター等の相談支援体制】	予習：教科書P 96～99を読む（90分）

第14回	福祉行政における専門職の役割	【国家資格】 【公的資格】 【認定資格】 【任用資格】 【配置機関】	予習：教科書P100～105を読む(90分)
第15回	まとめ		
第16回			

テキスト	[題] 『新・社会福祉士養成講座10「福祉行財政と福祉計画 第5版』』 [出] 中央法規出版 2017
参考書・参考資料等	必要に応じ指示する
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	福祉計画論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	2年次春学期	
受講者制限	なし	

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 澤 和清	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①福祉計画が登場した背景やその考え方について、福祉行財政との関連で理解できる。 ②市町村を念頭においていた福祉計画の意義とその技法について理解できる。 ③さまざまな福祉計画の実際について、福祉の実践の観点から理解できる。
授業概要	本講義では、「福祉計画とは何か」の基本理解から始め、「福祉計画の目的や意義」を構造的な側面から、「福祉計画の理論と技法」を主に機能的な側面から概説し、実践としての福祉計画を計画者の視点に立って学ぶ。更に、老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画、地域福祉計画の分野別計画について、その歴史的経緯や概要、あるいは計画の課題や展望等を概説する。各福祉計画の「共通性」と「異質性」を考えながら計画への理解を進める。教科書以外に必要に応じて資料を配布する。また、授業毎にリアクションペーパー（講義に関する感想・意見・質問）の提出を求め、次回の授業でフィードバックする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス		
第2回	福祉と制度、福祉計画とは何か	【福祉の概念】 【社会福祉の概念】 【社会保障制度】	予習：教科書P 1～10を読む(90分)
第3回	社会福祉の動向－福祉の法制度の展開－	【社会福祉の法制度の発展過程】	予習：教科書P 11～P 24を読む(90分)
第4回	福祉計画の概要	【法定計画】 【行政計画】 【分野別中長期計画】	予習：教科書P 25～P 33を読む(90分)
第5回	福祉計画と福祉行財政	【上位計画】 【下位計画】 【予算措置】	復習：配布資料を復習する(90分)
第6回	福祉計画の目的と意義	【制度基準】 【独自基準】 【計画期間】	予習：教科書P 107～P 120を読む(90分)
第7回	福祉計画の主体と策定方法	【計画策定委員会】 【集合ニーズ】 【ハーフリックメント】	予習：教科書P 121～P 129を読む(90分)
第8回	計画策定のプロセスとニーズ把握	【PDSサイン】 【ローリング方式】 【合意形成過程】	予習：教科書P 130～P 147を読む(90分)
第9回	福祉計画の評価と住民参加の意義	【アセスメント評価】 【ベンチマーク】 【意思決定過程】 【ガバナンス】	予習：教科書P 148～P 162を読む(90分) 復習：配布資料を復習する(90分)
第10回	福祉計画の分析の視点	【計画者の視点】	予習：教科書P 163～P 169を読む(90分)
第11回	老人福祉・介護保険事業計画	【ゴールドプラン】 【地域計画】	予習：教科書P 170～P 194を読む(90分)
第12回	障害者計画・障害福祉計画	【障害者基本法】 【障害者総合支援法】	予習：教科書P 195～P 226を読む(90分)
第13回	次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画	【エンゼルプラン】 【社会連帯】 【次世代】	予習：教科書P 227～P 244を読む(90分)

第14回	地域福祉計画	【法制化】 【地域主権社会】 【総合化】	予習：教科書P245～P257を読む(90分) 復習：配布資料を復習する(90分)
第15回	まとめ		

テキスト	[題] 『新・社会福祉士養成講座10「福祉行政財政と福祉計画 第5版』』 [出] 中央法規出版 2017
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末定期試験…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	福祉経営論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	3年次春学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 西島 悟司	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①福祉サービス提供組織の性格について説明できる。 ②福祉サービスの管理運営の方法について説明できる。 ③福祉サービスの今後のあり方について自分なりの意見を持つことができる。
授業概要	今日、福祉サービス提供のありようは岐路に立っている。講義資料をもとに、講義と討論で、その本質を学びつつ、実際の手法等についても理解できるようすすめる。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	福祉経営論で何を学ぶか、どのように学ぶか。	福祉サービスの組織と経営	予習：シラバスの確認（90分）　復習：学習課題の整理（90分）
第2回	福祉サービスの提供組織	法人の意義と種類	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第3回	社会福祉法人	社会福祉法人の性格、組織、現状と課題	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第4回	NPO法人、医療法人等	NPO法人、医療法人等の性格、組織、現状と課題	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第5回	福祉サービス提供体制の歩み	福祉サービス提供体制の変化	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第6回	福祉サービスの組織と経営	戦略、事業計画、組織	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第7回	福祉サービスの組織の基礎理論	組織と管理、集団の力学、リーダーシップ論	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第8回	福祉サービス提供組織の設置基準と管理体制	法人、事業の設置基準	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第9回	福祉サービスのサービス管理	サービスマネジメント、サービスの質、苦情とリスク対応	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第10回	適切な福祉サービス提供組織の運営	コンプライアンス、ガバナンス	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第11回	福祉サービス提供組織の人事労務管理	人事管理、労務管理、人材育成	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第12回	福祉サービス提供組織の職場の現状	働きやすい労働環境の整備、福祉と利益	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第13回	福祉サービス提供組織の財政	会計と財務管理	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）
第14回	福祉サービスの情報管理	情報管理、情報の公表制度、第三者評価	予習：資料を読み、疑問点を調べる（90分）　復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）

第15回	これからの福祉サービス提供組織に求められるもの（まとめ）	経営戦略、まとめ	予習：これまでの復習（90分） 内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる（90分）	復習：これまでの講義
------	------------------------------	----------	---	------------

テキスト	適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末試験…(50%) 平常点…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会保障論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次春学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①「社会保障と税の一体改革」とは何を目的とし、何に頓挫しているのかが理解できる。 ②社会保障の枠組みと、利点そして限界を理解することができる。 ③あるべき社会保障の在り方について、学生個々が意見や考えを習得することができる。
授業概要	「社会保障と税の一体改革」とはどこを着地点として考えているのか。また、富裕層と貧困層という国民生活の二極分化が社会問題化しており、国民の格差社会への関心が高まっている。格差は正と生活のセーフティーネットの必要性への認識が増してきている。さらに、少子高齢社会の出現は、年金制度の抜本的改革、および、介護や育児の社会化等を加速度的に進展させる要因となった。社会保障はこれらの課題に対応する国の政策であり、所得保障、医療保障、介護保障そして社会福祉サービスの体系的理解を基本に、「なぜ、日本の国家予算の4分の1を社会保障費に配分するのか」を考えてみる。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 社会保障論の講義の進め方	【社会保障とはいいったい何か】	予習：社会保障とは何か（90分） 復習：私たちの生活と社会保障との関係（90分）
第2回	社会保障とは、何か？最近話題となっているテーマから ①年金問題	【社会保障と税の一体改革とはなにか】	予習：年金とは（90分） 復習：年金をめぐるいまの課題が理解できたか（90分）
第3回	社会保障とは、何か？最近問題となっているテーマから ②医療問題	【今の社会と社会保障の必要性】	予習：医療とは（90分） 復習：医療をめぐるいまの課題が理解できたか（90分）
第4回	社会保障とは、何か？最近問題となっているテーマから ③介護問題	【「高福祉高負担」か「低福祉低負担」か】	予習：介護とは（90分） 復習：介護をめぐるいまの課題が理解できたか（90分）
第5回	社会保障の枠組みと、福祉との関係	【お金で解決できない問題について】	予習：社会保障と社会福祉との関係（90分） 復習：お金で解決できる問題とそうでない問題（90分）
第6回	高齢者になった場合の社会保障制度	【介護が社会保障のキーワード】	予習：年をとる、ということは（90分） 復習：高齢者になったときの問題とは（90分）
第7回	介護と社会保障 ① その歴史と成立経緯	【超高齢社会に向けた舵取りとは】	予習：介護政策の歴史（90分） 復習：介護保険誕生の経緯が整理できたか（90分）
第8回	介護と社会保障 ② 介護保険の仕組み	【介護保険法制度の仕組み】	予習：介護保険法制度とは（90分） 復習：介護保険の制度が理解できたか（90分）
第9回	先進諸外国における介護問題 ビデオ学習	【先進国と介護の実態】	予習：他国の介護環境は（90分） 復習：介護政策をめぐる他国の状況が理解できたか
第10回	ライフサイクルからみた社会保障との関係 ① 学生によるディスカッション	【社会保障と税の一体改革から】	予習：学生諸君にとって、年金はもらえるのか（90分） 復習：年金制度の仕組みを再確認する（90分）

第11回	ライフサイクルからみた社会保障との関係 ② 学生によるプランマップの作成	【あなたはいったい何にこだわり続けたいのか】	予習：これから的重要な問題（90分） 復習：何に優先順位を置いて生きるのか（90分）
第12回	ライフサイクルからみた社会保障との関係 ③ 学生による報告	【ディベート 討論】	予習：からの社会保障の課題（90分） 復習：社会保障政策の方向性（90分）
第13回	先進諸外国における社会保障 アメリカ・イギリス	【アメリカ・イギリスの社会保障制度改革】	予習：米・欧の社会保障政策（90分） 復習：ドイツの社会保障政策も参考にして（90分）
第14回	先進諸外国における社会保障 北欧諸国・アジア	【スウェーデンは福祉先進国なのか】	予習：北欧・アジアの社会保障政策（90分） 復習：福祉国家の希望と限界（90分）
第15回	社会保障とは　まとめ	【これからの社会保障を徹底討論】	予習：からの社会保障はどうあるべきか（90分） 復習：レポート課題へのテーマ設定（90分）

テキスト	随時、必要な資料を配布します。
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…80% 平常点(受講態度等)…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	高齢者福祉学概論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3年次秋学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①いまの高齢者が抱えている問題が理解できる。 ②少子・高齢化に対する法制度的仕組みが理解できる。とくに介護保険制度については、徹底理解。 ③高齢社会への対応と、日本における社会保障制度との関係が理解できる。
授業概要	現在の高齢者問題を、高齢者の量的・質的視点から整理し、とくに一人暮らし老人の中でも孤独死や漂流し続ける高齢者の実態について理解を深める。我が国における少子・高齢者問題を、高齢者の視点から分析し、今後の社会保障の在り方までを整理する。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 現在の高齢者とは？	【いまの高齢者像とは】	予習：高齢者とは（90分） 復習：講義の進め方が理解できたか（90分）
第2回	高齢者の数的・質的变化について	【統計からみた高齢者の実態】	予習：高齢者の実態の理解（90分） 復習：高齢者の実態が理解できたか（90分）
第3回	現在の高齢社会が抱える問題① 学生諸君の親をいったい誰が介護するのか？	【老親扶養と相続との関係】	予習：高齢社会の課題の整理（90分） 復習：高齢社会の課題が認識できたか（90分）
第4回	現在の高齢社会が抱える問題② 学生諸君自身は、老後をどう考えているのか？	【自らの50年後がイメージできるか】	予習：自らの老後を想像してみる（90分） 復習：50年後の社会を想像してみよう（90分）
第5回	現在の高齢社会が抱える問題③ 認知症・孤独死・漂流	【認知症・孤独死・漂流の実態】	予習：認知症になると…（90分） 復習：認知症の課題とは（90分）
第6回	我が国の社会保障制度における高齢者福祉の位置づけ	【社会保障制度と社会福祉制度との関係】	予習：高齢者の実態の理解政策とは（90分） 復習：政治と高齢者の位置づけが理解できたか（90分）
第7回	介護保険制度の仕組みと理解①	【介護保険の誕生前措置制度について】	予習：介護保険とは何か（90分） 復習：素人が尋ねてくるであろう質問に答えられたか（90分）
第8回	介護保険制度の仕組みと理解②	【介護保険制度を使いこなそう】	予習：介護保険とは何か（90分） 復習：素人が尋ねてくるであろう質問に答えられたか（90分）
第9回	ビデオ学習 認知症について	【高齢者の表情を理解しよう】	予習：認知症高齢者の表情とは（90分） 復習：認知症高齢者のこれから（90分）
第10回	高齢者福祉制度の仕組みと課題①	【これまでの高齢者福祉制度の歴史】	予習：介護保険制度以外には…（90分） 復習：高齢者制度の概要（90分）
第11回	高齢者福祉制度の仕組みと課題②	【在宅福祉・施設福祉の推移】	予習：「家」か「施設」か どこで最期を迎えるか 復習：「家」か「施設」か どこで最期を迎えるか（90分）
第12回	海外における高齢者福祉制度の現状① アメリカ、フランス	【自由主義諸国における高齢者】	予習：海外の福祉制度を理解する（90分） 復習：米・欧の福祉のつくり方（90分）

第13回	海外における高齢者福祉制度の現状② スウェーデン・北欧	【北欧の取り組み 現状と課題】	予習：北欧の福祉の考え方（90分） 復習：福祉国家の選択が理解できたか（90分）
第14回	海外における高齢者福祉制度の現状③ アジア－中国・韓国・台湾－	【儒教国家における高齢者福祉のつくり方】	予習：アジアの福祉の考え方（90分） 復習：アジアの中の日本の違い（90分）
第15回	まとめ	【これからの中高齢社会をどうするのか】	予習：これからの超高齢社会をどうするか（90分） 復習：課題の整理（90分）

テキスト	適宜、プリント、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…60% 課題別報告…20% 平常点(受講態度等)…20%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	障害児・者福祉論
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	選択
配当年次	1年次秋学期 (スポーツ教育…2年次)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 遠藤 六朗	びわこ学院大学 教育福祉学部
非常勤講師	金子 秀明	びわこ学院大学 教育福祉学部

本科目の到達目標	①戦後の障がい者福祉の歴史について概説し説明ができる。 ②身体障害、知的障害、発達障害、精神障害の障害の様態について理解し説明できる。 ③障害者福祉制度の改革動向とその方向について理解しこれからのあり方について自らも考えることができる。
授業概要	障害児・者福祉論は2コマで分かれて行う。障がい児福祉では、母子保健法、児童福祉法を主に、障がいの早期発見療育、障がい児保育のシステムの学習を進め、障害者福祉では、障害者福祉の歴史、障害者自立支援法廃止動向、国際動向やインクルージョンなど、障がい児・者福祉全体にわたる改革動向に触れる。なお、障がいの様態については、遠藤は身体障がい、知的障がい、金子は精神障がいを担当し講義する。2コマの授業で重複する講義があるかもしれないが、大事なテーマなので何度もしっかりと学んでほしい。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 授業を始めるにあたって 本授業の学び方の概念図 障害児と障害者 福祉	【障害児 障害者 障害福祉制 度の動向】	予習：テキストの目次をみる（45分） 復習：児童福祉法を読む（45分）
第2回	乳幼児期と制度 母子保健と乳幼児健診と障がい療育シス テム、障がい児保育	【母子保健 早期発見・早期療育 シス テム 児童発達支援事業】	予習：母子保健法を読む（45分） 復習：乳幼児健診の流れと児童発達支援 事業（45分）
第3回	胎児及び乳幼児の成長発達と障がいの早期発見 成長発達の質的転換期と障がい	【成長発達の指標 障がいの早期 発見の指標】	予習：自分の母子健康手帳を読む（45 分） 復習：発達成長と健診の関係を理解する (45分)
第4回	障がいの病因とその生成 1 脳性麻痺	【脳性まひ】	予習：発達心理学テキストを読む（45 分） 復習：各障がいの理解（45分）
第5回	障がいの病因とその生成 2 ダウン症、自閉症	【ダウン症 自閉症】	予習：発達心理学テキストを読む（45 分） 復習：各障がいの理解（45分）
第6回	障害のある子どもの発達支援を巡る問題 医療的ケア児 行動障がい 等	【医療的ケア児 行動障がい インクルーシブ】	予習：住んでいる圏域を調べる（レポート宿題予定）（60分） 復習：青年期までの福祉・教育の制度を 理解する（60分）
第7回	児童福祉法の障がいサービス体系（18才まで の体系）及び児童権利宣言、 子どもの権利条約	【児童福祉法 障がい児サービス 体系 子どもの権利条約】	予習：子どもの権利条約を読む（60分） 復習：障がい児サービス体系の理解（60 分）
第8回	特論 滋賀の障がい福祉 福祉圏域と市町レベ ル (自分の生んでいる圏域の実態を所定の書式で 調べる)	【障がい福祉の先進県 福祉 圏】	予習：住んでいる圏域を調べる (レポート宿題予定) (60分) 復習：滋賀県の障がい福祉の実態（60 分）

第9回	障がいの概念と法的定義 (ICIDH ICF) 難病について調べレポートを提出	【WHO ICIAH ICF】	予習：該当するテキスト (60分) 復習：ICIDHと ICF の比較とその理解 (60分)
第10回	身体障がい 1 身体障がい（肢体不自由・視覚）	【CP 筋ジス 視覚障がい】	予習：与えられた障がいの調べ (60分) 復習：障がいの理解 (60分)
第11回	身体障がい 2 身体障がい（聴覚平衡・音声言語咀嚼機能・内部）	【聴覚障がい 音声機能障がい 内部障がい】	予習：与えられた障がいの調べ (45分) 復習：障がいの理解 (45分)
第12回	重症心身障がい・難病・高次脳機能障がい	【重症心身障がい児 難病 高次脳機能障がい】	予習：与えられた障がいの調べ (45分) 復習：障がいの理解 (45分)
第13回	知的障がい・発達障がい	【知的障がい、発達障がいの定義】	予習：発達障害者支援法を読む (45分) 復習：発達障害の基礎的理解をする (45分)
第14回	我が国の障害者福祉サービス体系の歩みと現行体制（18才以上） その問題と課題	【障害者福祉制度 障害者自立支援法から 障害者総合支援法】	予習：我が国の障がい者福祉の歩みを学ぶ (45分) 復習：措置制度下の体系の理解 (45分)
第15回	改革の元になった社会福祉基礎構造改革とは何か 社会はどう変貌したか、今をどうみるか	【社会福祉基礎構造改革 措置と契約 多様な参画と競争 権利擁護と経営の透明性】	予習：該当するテキスト (45分) 復習：社会福祉基礎構造改革の意味を理解する (60分)
第16回	障害者福祉制度の変遷にみる障がい者観と福祉観 我が国と国際動向（インクルーシブ等）	【法制度概要 施設福祉・地域福祉 ノーマライゼーション リハビリテーション】	予習：障害福祉の動向をテキストで調べる (60分) 復習：我が国の障害福祉を理解する (60分)
第17回	障がい福祉動向各論 障害者差別と人権擁護 障害者虐待防止・差別解消、合理的配慮	【優生思想 知能テスト 社会防衛論 障害者虐待防止法 障害者差別解消法】	予習：障害者差別の歴史について調べる (60分) 復習：優性思想とは何か理解する (60分)
第18回	障がい者の運動、親の運動とその問題と克服 自立生活運動、重症児者の運動など	【当事者運動 自立 自己決定権 重症心身障がい】	予習：テキストの指示箇所を読む (60分) 復習：自立の意味を深める (60分)
第19回	施設福祉から地域福祉へ、その問題と課題 施設はいらなくなつたのか	【施設福祉、地域福祉】	予習：該当するテキスト (60分) 復習：施設福祉と地域福祉の意味 (60分)
第20回	相談支援 当事者と家族 障がい福祉計画 ケアマネジメント、ピアカウンセリングなど	【相談支援 ケアマネジメント ピアカウンセリング 相談支援フロー】	予習：テキストの指示箇所を読む (60分) 復習：相談支援のフローチャート (60分)
第21回	相模原事件から何を見るか1 何を教えているか	【相模原事件 精神障がい者】	予習：事件概要を調べる (60分) 復習：事件の背景とは (120分)
第22回	相模原事件から何を見るか2 レポート執筆と提出	【グループホーム 余暇支援 意思決定支援】	予習：事件概要を調べる (60分) 復習：事件の背景とは (120分)
第23回	滋賀の障がい福祉 糸賀一雄「この子らを世の光に」を学ぶ1	【近江学園 糸賀一雄 田村一二 池田太郎 岡崎英彦】	予習：糸賀一雄のことをインターネットで調べる (60分) 復習：戦後障がい福祉の歩みを復習する (60分)
第24回	滋賀の障がい福祉 糸賀一雄「この子らを世の光に」を学ぶ2	【糸賀一雄 「この子らを世の光に」 新たな福祉理念構築】	予習：糸賀一雄の生涯 (60分) 復習：今の障がい福祉と糸賀一雄の思想をつなげる (120分)
第25回	日本における精神障がい者の歴史と法律の変遷	【社会防衛の施策から人権尊重と自己決定へ】	予習：精神障がい者への法律を調べる (90分) 復習：資料の社会福祉制度の復習 (90分)
第26回	ライフサイクルにおけるメンタルヘルスの課題 (乳児期～児童期・思春期)	【虐待の実態と対策・いじめ等のメンタルヘルスの課題】	予習：虐待事例に関する読み込み (90分) 復習：虐待事件の背景と対策を知る (90分)
第27回	ライフサイクルにおけるメンタルヘルスの課題II (青年期～成人期)	【わが国の労働環境の変化と精神科 通院患者の増大の関連及び「自殺対策」】	予習：労働環境の変化を調べる (90分) 復習：職場でのメンタルヘルスの課題 (90分)
第28回	精神障がい各論 「うつ病・統合失調症とは」	【精神障がい者の生活しづらさ】	予習：精神障がいについて調べる (90分)

		とは】	復習：病気と障害を併せ持つことを知る(90分)
第29回	統合失調症当事者が語る「地域生活支援について」	【薬の副作用や偏見を超えて 「福祉を学ぶ 学生に伝えたいこと」】	予習：当事者の方への質問を考える(90分) 復習：自己決定の尊重を理解する(90分)
第30回	障がい者の地域生活支援の実際「制度による支援とチームアプローチ」	【福祉サービスによる支援とイ ンフォーマル サービス】	予習：事例の読み込み(90分) 復習：チームアプローチを知る(90分)

テキスト	[題] 『よくわかる障害者福祉』 (第6版) [著] 小澤 温編 [ISBN番号] 9784623076444 必要に応じて適宜プリント配布し、知的障がい、身体障がい、精神障がいの福祉について紹介する。
参考書・参考資料等	授業で適宜紹介する
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 期末レポート…(40%) 平常点(受講態度等)…(10%)
履修しておくべきことが望まれる科目	障がいはもちろんであるが、子どもや家族、福祉、教育全般にかかる理解が求められるので、それらを含む科目はきちんと学ぶこと。また新聞等も情報として役立つので目配りをすること。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	担当：1～24遠藤 25～30金子

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	子ども福祉学概論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	1年次秋学期
受講者制限	なし

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①子どもの権利の変遷と特徴について理解できる。 ②子どもを取り巻く環境とどのような社会資源（制度・サービスを含めて）があるのかを理解できる。 ③子どもおよび家庭のニーズを把握し支援に必要な知識の習得ができる。
授業概要	児童に関する諸問題について、児童の人権を基本に捉え、家族と地域との関連において考察していく。また、児童福祉法における歴史的な成立過程をたどりながら児童福祉法の改正後の課題についても理解を深める。

[授業計画表](#)

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	子ども家庭福祉の理念	【児童福祉、子ども家庭福祉、ウェルビーイング】	予習：課題プリント(90分)
第2回	子どもの権利の変遷と特徴	【個人的思想、人権宣言、権利条約】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第3回	子ども権利条約	【条約の意義、最善の利益、意見表明権】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第4回	子ども家庭福祉の発展過程	【戦前の児童福祉の歴史】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第5回	児童福祉法の成立過程と目的	【戦後の社会福祉、児童保護】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第6回	子ども家庭福祉に関する法制度	【児童福祉法、母子及び父子並びに寡婦福祉法】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第7回	子ども家庭福祉の実施体制	【国の役割、地方行政の役割、関係機関】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第8回	子ども家庭福祉に関する専門職の役割	【ノーマライゼーション】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：前半授業に関するレポート作成(180分)
第9回	子ども家庭福祉に関する施設	【自立支援】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第10回	児童相談所の機能と役割	【児童相談所、他機関連携、保護】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第11回	児童虐待について	【児童虐待の現状、背景、被虐待児への影響】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)
第12回	社会的養護の実際	【社会的養護の現状、施設養護、家庭養護】	予習：授業レポートの作成(180分)
第13回	障がいのある子どもを持つ家庭への支援	【障がい、難病、障がいの受容】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 復習：課題プリント(90分)

第14回	ひとり親家庭への支援	【ひとり親家庭の様相、ひとり親家庭の現状、支援施策】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) 課題プリント(90分)	復習：
第15回	子ども家庭福祉の相談支援	【支援プロセス、ニーズ、ストレングス視点】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(90分) レポート作成(120分)	復習：

テキスト	[題] 『児童や家庭に対する支援と子ども家庭福祉制度 第2版』 [出] ミネルヴァ書房 2013年
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 課題…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	公的扶助論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	3年秋学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①いまの経済事情を整理したうえで、生活困窮状態に陥る背景や経緯について理解することができる。 ②最低生活を営むまでの計算方法や、そのための法制度の理解ができる。 ③生活困窮者の理解と生活困窮者を対象とした支援方法について理解することができる。
授業概要	本講義は、生活保護制度の仕組みを理解するとともに、その課題と現在の貧困問題とをつなぎ合わせながら学習を進めるものである。とくに憲法の生存権をベースに誕生した生活保護法の歴史や、扶助の仕組み。また子ども手当の概要について、今後への問題提起も含めた講義を行う。

[授業計画表](#)

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	公的扶助の概要と、「貧困」との関係	【絶対的貧困、相対的貧困】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第2回	憲法と生活保護法との関係	【生存権】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第3回	生活保護法の歴史	【欧米の歴史、日本の歴史】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第4回	生活保護法の仕組み	【生活保護法の4つの原理、原則】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第5回	扶助の種類	【8つの扶助の組み合わせ】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第6回	最低生活費	【最低生活費、算出方法】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第7回	生活保護の動向	【生活保護受給者数、受給世帯数、保護率】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第8回	生活保護制度の実施体制	【国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第9回	福祉事務所の役割と実際	【組織体制、活動の実際】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第10回	生活保護制度における専門職の役割	【現業員、査察指導員】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）

第11回	生活保護制度における多職種連携	【保健医療、労働、教育、連携】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第12回	生活困窮者自立支援法について	【自立相談支援事業、就労準備支援事業】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第13回	子どもの貧困対策事業の実際について	【子どもの貧困対策法、子どもの貧困対策事業】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第14回	低所得者支援について	【ホームレス、ワーキングプア、支援プログラム】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
第15回	低所得者支援における連携のあり方	【多職種、ネットワーキング】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む（90分） 復讐：課題プリント（90分）
テキスト		[題] 『公的扶助論第2版 低所得者に対する支援と生活保護制度』 [出] ミネルヴァ書房 2013年	
上記到達目標の評価の方法		期末筆記試験…(50%) 課題…(20%) 平常点…(30%)	

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	保健医療サービス論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	3年次春学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 三嶋 一輝	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）の相談援助活動に必要な医療保険制度や保健医療サービスについて理解できる。 ②保健医療サービスにおける専門職の役割と連携の実際、多職種協働における医療ソーシャルワーカーの具体的な実践について理解できる。
授業概要	本講義では、保健医療サービスの体系を学び、知識を習得する。また、医療ソーシャルワーカーの役割や機能について、援助の実践例を通じて理解を深める。

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	導入・・・現代の医療を取り巻く環境と医療ソーシャルワーカー	【社会保障費】 【国民医療費】 【医療計画】 【クリティカルパス】 【MSW】	予習：テキスト第1章（1～14頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第2回	社会保障制度の概要と医療保険制度	【医療施設の機能と類型】 【医療従事者】 【医療保険制度】 【公費医療】 【介護保険制度】	予習：テキスト第2章（15～58頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第3回	診療報酬制度の仕組み	【診療報酬制度】 【病院機能分化】 【高額療養費制度】 【診療報酬と社会福祉士】	予習：テキスト第3章（59～76頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第4回	保健医療サービスにおける専門職とチーム医療	【多職種連携】 【チームアプローチ】 【IPE】	予習：テキスト第4章（77～90頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第5回	保健医療サービスにおける専門職の役割と実際	【医師、看護師等医療関係職種の役割】 【業務独占と名称独占】	予習：テキスト第5章（91～106頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第6回	保健医療ソーシャルワーク小史	【慈善組織化協会】 【医療社会事業】	予習：テキスト第6章（107～120頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第7回	対人援助の基礎と医療ソーシャルワーク実践	【対人援助の基礎】 【理論とアプローチ】	予習：テキスト第7章（121～134頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第8回	医療ソーシャルワーカーの業務内容と役割	【MSW業務指針】 【倫理綱領】	予習：テキスト第8章（135～150頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）

第9回	保健医療ソーシャルワーク実践① 事例検討 H I V / A I D S 患者への支援と社会の問題	【人権保障】 【権利擁護】 【感染症】 【セクシャルマイノリティ】 【エイズ診療拠点病院】	予習：テキスト第9章（151～174頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第10回	保健医療ソーシャルワーク実践② 事例検討 経済的問題を抱える患者への支援（ホームレス、がん患者の支援）	【ホームレス】 【無保険】 【生活保護法】 【がん患者】 【緩和ケア】	予習：テキスト第10章（175～188頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第11回	保健医療ソーシャルワーク実践③ 事例検討 精神障害を抱えた患者・家族への支援	【精神保健福祉法改正】 【社会的入院】 【退院後生活環境調整員】 【精神保健福祉士】	予習：テキスト第11章（189～206頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第12回	保健医療ソーシャルワーク実践④ 事例検討 高齢者の退院支援の実際と社会資源の活用	【人口減少社会】 【超高齢社会】 【地域包括ケアシステム】 【在宅医療】	予習：テキスト第12章（207～224頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第13回	保健医療ソーシャルワーク実践⑤ 事例検討 周産期・新生児医療における医療ソーシャルワーク	【周産期医療】 【長期入院児】 【小児の退院支援】	予習：テキスト第13章（225～246頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第14回	保健医療ソーシャルワーク実践⑥ 事例検討 児童虐待対応と医療ソーシャルワーカーの役割	【院内児童虐待防止委員会】 【児童相談所】 【児童虐待】	予習：テキスト第13章（225～246頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）
第15回	保健医療ソーシャルワーク実践⑦ 事例検討 リハビリテーション医学と医療ソーシャルワーク 全体の振り返りと国試対策について	【回復期リハビリテーション病棟】 【地域連携クリティカルパス】 【FIM】 【CGA】	予習：テキスト第13章（225～246頁）を読む（120分） 復習：配布資料、ノートを見直す（120分）

テキスト	[題] 『保健医療サービス』 [著] 児島美都子・成清美治・牧洋子編著 [出] 学文社 2015（最新版）
参考書・参考資料等	[題] 『2016年度版医療福祉総合ガイドブック』 [著] N P O 日本医療ソーシャルワーク研究会編集 [出] 医学書院 2016（最新版）
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(70%) 平常点…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	テキスト代 2,700円+税
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	就労支援サービス論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年次秋学期
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 城 貴志	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①人が「働く」ことの意義を考察し、その上で現代社会のなかで働きづらさを抱えた人の現状や就労支援サービスの概要、またその課題等について学ぶことができる。 ②社会福祉士国家試験科目である「就労支援サービス」の内容について学ぶことができる。
授業概要	人が生きる、暮らすという営みのなかで「働く」ことの意義を考える講義やグループ討論を実施する予定。また、身近な時事の経済・雇用問題を題材として取り上げ、社会情勢と雇用の関連性について考える。就労支援サービスの第一線で活躍する方をゲストスピーカーとしてお呼びし現状と課題について講演いただく。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	働く意義を考える	人が働くと言うこと 働くことの意義を考える	テキスト序章 (P2~8)
第2回	取り巻く環境経済から（労働市場の変化）	雇用と経済、労働市場 障害者雇用の外部環境	事前に配布する資料ならびにテキスト P9~18
第3回	労働に関する法律と制度	労働法規 労働者性と利用者の違い	テキスト第1章第2節 P19~32まで
第4回	障害のある人とは	障害の定義 ICFの視点	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第5回	障害者雇用の現状	障害者雇用促進法等障害者への労働施策	テキスト第2章第1節P40~43、第2章第3節P51~65 第5節P73~80
第6回	ゲストスピーカー 障害者雇用に取り組む企業の方の実践	人を生かす経営 障害者雇用の現場から	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第7回	障害のある人への就労支援サービス	障害者総合支援法と福祉サービスとしての就労支援	第2章第1節P33~39、第2節P44~50
第8回	見学会の開催もしくはゲストスピーカー	就労支援現場の実際	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第9回	特別支援学校の支援	特別支援教育の現状と課題	第2章第4節P66~72
第10回	専門職のアプローチ、その視点	自己決定・自己選択、リフレーミング、エンパワメント	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第11回	低所得者、生活困窮者支援	生活困窮者自立支援法とその概念、サービス	第3章第1節、第2節 P89~114、P123~136
第12回	ゲストスピーカー 生活困窮者支援の実践	生活困窮支援の現場から 制度の狭間の人々への支援	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
第13回	母子世帯、若年無業者や若年認知症の人への支援	母子世帯、引きこもりやNEET、若年認知症等への就労支援	テキスト第2節P114~122
第14回	就労支援と連携の実際	事例検討	第4章P137~第5章P183

就労支援のアプローチ検討			
第15回	就労を支える暮らし	働くことを支える暮らしの支援まとめに変えて	事前に配布する資料を参照のうえ受講すること
テキスト	<p>[題] 『新・社会福祉士養成講座 就労支援サービス 第4版』</p> <p>[著] 社会福祉士養成講座編集委員会著</p> <p>[出] 中央法規</p>		
参考書・参考資料等	隨時、講義時に紹介する。		
上記到達目標の評価の方法	<p>定期試験(筆記試験) … (50%)</p> <p>課題… (25%)</p> <p>平常点… (25%)</p>		
その他特記事項	2017年度は秋学期に開講する		

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	権利擁護と成年後見制度論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	4年次春学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 五百木 孝行	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①社会福祉基礎構造改革における権利擁護の理念について、理解し説明できる。 ②成年後見制度の概要について、理解し説明できる。 ③社会福祉士の権利擁護活動について、理解し説明できる。 ④社会福祉士試験の「権利擁護と成年後見制度」の試験問題を解くことができる。
授業概要	<p>本講義では、社会福祉基礎構造改革における「措置」から「契約」への転換において、福祉サービスを「購入」するために、質の良いサービスの供給や苦情解決、契約能力の確保等、従来の「措置」とは異なるサービス利用の下支えが必要となったため、その仕組みについて学び理解を深める。</p> <p>さらにソーシャルワークの思想を背景に、権利擁護と成年後見制度の仕組みや扱い手について理解を深める。その学習の蓄積の上に、社会福祉士試験問題の演習を行い、国試に対応できる実力を養う。</p>

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに～ソーシャルワークにおける法の意味	社会福祉基礎構造改革とソーシャルワークの関係性 相談援助活動における法律問題の意味	復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第2回	ソーシャルワークにおける主要な法（1）	憲法の理解 基本的人権・生存権の意義	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第3回	ソーシャルワークにおける主要な法（2）	行政法の理解と実際	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第4回	ソーシャルワークにおける主要な法（3）	民法及び消費者保護の理解と実際	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第5回	後見1 未成年後見	未成年後見の概要 児童の権利擁護に係る児童相談所の役割	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第6回	後見2 成年後見制度の概要（1）	法定後見の概要と実際	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）小テストに取り組む（120分）
第7回	後見3 成年後見制度の概要（2）	任意後見制度の概要と実際	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）小テストに取り組む（120分）
第8回	後見4 成年後見員等の義務と責任	善管注意義務・意思尊重義務と身上配慮義務・居住用不動産の処分・利益相反行為等の理解	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）小テストに取り組む（120分）
第9回	日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業	両事業の概要の理解 日常生活自立支援事業と成年後見制度の関係性	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）

			分)
第10回	権利擁護機関1 司法	家庭裁判所の役割 法務局の役割	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（60分）
第11回	権利擁護機関2 行政と社会福祉協議会	市町村の役割 社会福祉協議会の役割	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第12回	社会福祉士の権利擁護活動	社会福祉士の役割 権利擁護センターばあとなあの歩みと現状	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第13回	権利擁護専門職	弁護士の役割 司法書士の役割 公証人の役割 医師の役割	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第14回	権利擁護と虐待対応	高齢者・障害者・児童等に関する各虐待防止法の理解 虐待対応の実際	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第15回	今後の権利擁護と成年後見制度	成年後見制度の運用状況 横浜宣言の意義とその後 成年後見と意思決定支援の関係性 市民後見人と法人後見の役割と今後 成年後見制度利用促進法と円滑化法成立と意義	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）この科目的総復習に取り組む（60分）

テキスト	[題] 「新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度 第4版第3刷」 [編] 社会福祉士養成講座編集委員会 [ISBN]978-4-8058-3936-2 [出] 中央法規
参考書・参考資料等	[題] 「福祉小六法2017（平成29年版）」 [編] ミネルヴァ書房編集部 [ISBN]9784623079018 [出] ミネルヴァ書房
上記到達目標の評価の方法	個別レポート…70% 小テスト …15% 平常点 …15%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	更生保護制度論	
講義区分	講義	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	4年次秋学期	
受講者制限	なし	

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 五百木 孝行	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①更生保護制度の概要と仕組みを理解し説明することができる。 ②ソーシャルワーカーの担い手として、司法と福祉の連携の現状を理解し説明することができる。 ③医療観察制度の概要と仕組みを理解し説明することができる。 ④社会福祉士試験の「更生保護制度」の試験問題を解くことができる。
授業概要	<p>更生保護とは、犯罪をした者や非行のある少年に対し、社会内において適切な処遇を行うことにより、再び犯罪をすることを防ぎ、または非行をなくし、これらの者が善良な社会の一員として自立し、改善更生をすることを助けることである。そのことによって社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することが究極の目的である。</p> <p>本講義では、更生保護制度の概要や更生保護の担い手について学び理解し、司法と福祉の連携の現状と課題について理解を深める。そこでのソーシャルワーカーの役割についても考察する。</p> <p>以上の学習の蓄積の上に、社会福祉士試験問題の演習を行い、国試に対応できる実力を養う。</p>

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに～更生保護制度とは何か	制度の意義と役割：歴史、法制、組織、機構 刑事司法・少年司法の位置づけ	復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第2回	矯正の概要	我が国の犯罪の動向 矯正の位置づけ、歴史、組織	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第3回	更生保護制度の概要（1）	刑事司法のなかの更生保護	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第4回	更生保護制度の概要（2）	仮釈放等 保護観察	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第5回	更生保護制度の概要（3）	生活環境の調整 更生緊急保護	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第6回	更生保護制度の概要（4）	犯罪被害者等施策	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分） 小テストに取り組む（120分）
第7回	更生保護制度の概要（5）	恩赦 犯罪予防活動	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分） 小テストに取り組む（120分）
第8回	更生保護制度の担い手（1）	保護觀察官 保護司	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分） 小テストに取り組む（120分）
第9回	更生保護制度の担い手（2）	更生保護施設 民間協力者	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）
第10回	関係機関・団体との連携（1）	裁判所・検察庁・矯正施設 児童相談所とのかかわり	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分） 個別レポートに取り組む（60分）

第11回	関係機関・団体との連携（2）	公共職業安定所・自治体・民間団体等とのかかわり	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第12回	司法と福祉の連携	地域定着支援事業制度の現状と課題 社会福祉士の役割	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第13回	医療観察制度の概要	医療観察法の理解 保護観察所社会復帰調整官の役割	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第14回	更生保護の実際	事例から学ぶ保護観察官の業務の実際	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）個別レポートに取り組む（120分）
第15回	これからの更生保護制度の展望	更生保護制度改革 国民・地域社会の理解 更生保護の課題	予習：資料を読む（60分） 復習：講義レジュメ、ノートを見直す（60分）この科目的総復習に取り組む（60分）

テキスト	[題] 「新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度 第4版」 [編] 社会福祉士養成講座編集委員会 [出] 中央法規 [ISBN] 978-4-8058-5433-4
参考書・参考資料等	・ [題] 「更生保護入門 第3版」 [編] 松本勝 [出] 成文堂 [ISBN] 978-7923-1942-7 ・ 法務省 「犯罪白書」 http://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html ・ 必要に応じ、資料等を配布
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…0% 個別レポート…70% 小テスト …15% 平常点 …15%
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術演習Ⅰ	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	3年次春学期	
受講者制限	子ども学科	

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①基本的な相談援助の知識・技術の理解ができる。 ②基本的な相談援助の技術が使える。 ③専門職としての自己理解ができる。
授業概要	本演習では、相談援助実践における基礎的な資質、技術の習得のため、演習を通じて自己理解、他者理解、コミュニケーションスキルを学ぶ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【ルールの説明、自己紹介、現状の確認】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。(50分) 復習：課題実践(90分)
第2回	自己理解①（自己のイメージ）	【自己のイメージ】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第3回	自己理解②（他者のイメージ）	【他者のイメージ】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第4回	自己理解③（他者のイメージ）	【他者のイメージ】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第5回	自己理解④（ライフヒストリー）	【ライフヒストリー】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第6回	自己理解⑤（ジェノグラム）	【ジェノグラム】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第7回	自己理解、他者理解①（ジェノグラム）	【ジェノグラム・面談】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第8回	自己理解、他者理解②（エコマップ）	【エコマップ】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第9回	自己理解、他者理解③（ブラインドウォーク）	【ブラインドウォーク】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第10回	チームのコミュニケーション	【チームワーク】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第11回	基本的なコミュニケーション技術の習得	【傾聴】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第12回	相談援助技法①（面接VRTR、傾聴について）	【相談面接技法】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第13回	相談援助技法②（ロールプレイ）	【相談面接技法】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第14回	相談援助技法③（ロールプレイ）	【相談面接技法】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第15回	相談援助技法④（ロールプレイ）	【相談面接技法】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第16回	価値観と他者への理解①（司会、参加者の役割）	【司会力、参加力】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)
第17回	価値観と他者への理解②（対話のルール）	【対話の作法】	予習：前回の振り返り(90分)　復習：課題実践(90分)

第18回	価値観と他者への理解③（大切なものの）	【大切なものの対話】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第19回	価値観と他者への理解④（価値の順位）	【価値観の順位付けの対話】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第20回	価値観と他者への理解⑤（身近なテーマ）	【身近なテーマの対話】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第21回	価値観と他者への理解⑥（身近なテーマ）	【身近なテーマの対話】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第22回	価値観と他者への理解⑦（相談事例）	【相談事例】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第23回	価値観と他者への理解⑧（対話のまとめ）	【対話の振り返り】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第24回	個人の価値観と専門職の価値観①（事例検討）	【事例検討】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第25回	個人の価値観と専門職の価値観②（事例検討）	【事例検討】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第26回	個人の価値観と専門職の価値観③（倫理綱領）	【倫理綱領】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第27回	記録①	【記録の練習】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第28回	記録②	【記録の練習】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第29回	エンパワーメントの活用実践	【強み】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)
第30回	まとめ	【演習を振り返る】	予習：前回の振り返り(90分)	復習：課題実践(90分)

テキスト	適宜、資料を配布
参考書・参考資料等	必要に応じて紹介
上記到達目標の評価の方法	個別レポート…(40%) 平常点 ワークの取り組み(30%) 小テスト(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術演習Ⅱ	
講義区分	演習	
基準単位数	2	
必選区分	選択	
配当年次	3年次秋学期	
受講者制限	なし	

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標

- ①相談支援の意義と原則について理解することができる。
 ②相談支援の実際を学び、内容や方法を理解することができる。

授業概要

本演習においては相談支援の意義や原則についての理解を深めた上で、クライエントに対する支援がどのように行われているかを相談支援の基本原則を理解しながら学習していく。学習をしていく際には、事例学習、事例検討、ワーキング学習をなるべく多く取り入れて、ディスカッション形式での学習を行い、実践力の向上にも力を入れていく。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	相談支援の意義	【相談支援、カウンセリング、相談の内容】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第2回	相談支援の意義	【ソーシャルワーカーの専門性、相談支援技術】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第3回	相談支援の基本 —クライエントの利益と福祉の実現—	【人権、自己決定の尊重】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第4回	相談支援の基本 —クライエントの利益と福祉の実現 ワーク学習—	【事例検討、自己決定のプロセス】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第5回	相談支援の基本 —クライエントの成長の共有—	【ソーシャルワーカーの専門的視点、相談援助場面に必要な知識と技術、成長段階】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第6回	相談支援の基本 —クライエントの成長の共有 ワーク学習—	【事例検討、アドボケイト、バイステックの7原則】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第7回	相談支援の基本 —クライエントシステムの支援の向上に資する支援—	【家族力向上、アウトリーチ、ホームビジティング】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第8回	相談支援の基本 —クライエントシステムの支援の向上に資する支援 ワーク学習—	【事例検討、アウトリーチ、ホームビジティング】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第9回	相談支援の基本 —信頼関係を基本としたかかわり、自己決定、秘密保持の尊重—	【信頼関係の形成、バイステックの7原則、ワーカビリティ】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第10回	相談支援の基本 —信頼関係を基本としたかかわり、自己決定、秘密保持の尊重 ワーク学習—	【事例検討、受容と共感、秘密保持】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)

第11回	相談支援の基本 －地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力－	【地域の社会資源、多職種連携】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第12回	相談支援の基本 －地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力 ワーク学習－	【事例検討、地域の社会資源、多職種連携】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第13回	相談支援の実際 －家族支援の実際－	【家族支援、相談内容】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第14回	相談支援の実際 －家族支援の実際 事例による学び－	【事例検討、苦情対応】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第15回	相談支援の実際 －家族支援の方法と技術－	【家族再統合と家族分離、アドボカシー、ソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第16回	相談支援の実際 －家族支援の方法と技術 事例による学び－	【事例検討、アサーティブコミュニケーション、権利擁護】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第17回	相談支援の実際 －家族支援の計画、記録、評価、カンファレンス－	【家族支援計画、記録と評価方法】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第18回	相談支援の実際 －家族支援の計画、記録、評価、カンファレンス 事例による学び－	【事例検討、カンファレンスの進め方】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第19回	相談支援の実際と事例分析 －ロールプレイ・フィールド等による事例分析①－	【事例検討、事例分析での記述、事例分析での機能分類】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第20回	相談支援の実際と事例分析 －ロールプレイ・フィールド等による事例分析②－	【事例検討、プロセスレコード、ロールプレイとターゲットスキル】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第21回	相談支援の実際と事例分析 －虐待の予防と対応等の事例分析①－	【事例検討、ケース発見、虐待対応】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第22回	相談支援の実際と事例分析 －虐待の予防と対応等の事例分析②－	【事例検討、エコマップ、早期発見・相談・通告】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第23回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児（者）とその家族への支援等の事例分析①－	【事例検討、障がい受容】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第24回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児（者）とその家族への支援等の事例分析②－	【事例検討、行動アセスメント、スーパーバイザ－】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第25回	相談支援の実際と事例分析 －教育機関における相談支援の実際①－	【事例検討、エコロジカルソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第26回	相談支援の実際と事例分析 －教育機関における相談支援の実際②－	【事例検討、スクールソーシャルワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第27回	相談支援の実際と事例分析 －児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援①－	【事例検討、入所児童と保護者、児童福祉施設最低基準】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第28回	相談支援の実際と事例分析 －児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援②－	【事例検討、日常生活と個別援助、ケース会議とチームアプローチ】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第29回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児施設、母子生活支援施設等における相談支援①－	【事例検討、ライフステージ、聞き取り技術】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)
第30回	相談支援の実際と事例分析 －障がい児施設、母子生活支援施設等における相談支援②－	【事例検討、ネットワーク】	予習：テキスト指定箇所・参考文献を読む(20分) 復習：課題プリント(25分)

テキスト	[題] 『基本保育シリーズ19 保育相談支援』 [出] 中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・資料等を配布

上記到達目標の評価の方法	試験(レポート)…(60%) 小レポート…(20%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	社会福祉援助技術演習Ⅰ
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術演習Ⅲ	
講義区分	演習	
基準単位数	1	
必選区分	選択	
配当年次	4年次秋学期	
受講者制限	子ども学科	

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	社会福祉援助技術演習Ⅲの講義は、社会に出て社会福祉士として活躍するための知識・技術の実践として位置づけている。そのため、事例検討を主に、どのような法制度を駆使し、またどういった心理的サポートを行えばいいのかについて学ぶものである。
授業概要	講義概要としては、事例分析・検討を主にしていることから、従来の福祉的対象者と考えられている低所得者、子ども、障がい、高齢といった領域での検討・分析だけではなく、不登校や成人の引きこもり、孤独死等、現代的なテーマについても、ディスカッションを主にしながら視野を広げ、また知識を深めることを目的としている。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 社会福祉援助と、その技術とは	対人援助とは？ 援助のための技術とは？	【予習】実習中の課題を整理する 【復習】これまでの実習を振り返る
第2回	事例研究の方法と分析課題① 高齢者	事例検討 高齢者	【予習】高齢者福祉を振り返る 【予習】法制度のあたりをつける
第3回	事例検討の方法と分析課題② 高齢者	事例検討 高齢者	【予習】高齢者福祉を振り返る 【予習】法制度のあたりをつける
第4回	事例検討の方法と課題分析① 低所得者	事例検討 低所得者	【予習】公的扶助を振り返る 【予習】生活保護法制度を確認する
第5回	事例検討の方法と課題分析② 低所得者	事例検討 低所得者	【予習】公的扶助を振り返る 【予習】生活保護法制度を確認する
第6回	事例検討の方法と課題分析① 子どもと家族	事例検討 子どもと家族	【予習】児童療育での実習の振り返り 【予習】児童福祉法制の確認
第7回	事例検討の方法と課題分析② 子どもと家族	事例検討 子どもと家族	【予習】家族とは 【予習】これからのライフスタイルを考える
第8回	事例検討の方法と課題分析③ 子どもと家族	事例検討 子どもと家族	【予習】次世代の家族とは 【予習】家族をめぐる政策動向
第9回	面接場面を想定したディスカッション①	困難事例をもとに考察を深める	【予習】社会福祉法制度の確認 【予習】アウトプットの作業から
第10回	面接場面を想定したディスカッション②	困難事例をもとに考察を深める	【予習】社会福祉法制度の確認 【予習】アウトプットの作業から
第11回	面接場面を想定したディスカッション③	困難事例をもとに考察を深める	【予習】社会福祉法制度の確認 【予習】アウトプットの作業から
第12回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント①	リスクとはいったい何か？	【予習】リスクとは何か 【予習】どこまでのリスクなら負うことができるのか
第13回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント②	どこまでのリスクなら負うことがで	【予習】リスクをどうコントロールするの

	ネジメント②	きるのか?	か 【予習】次なるリスク、課題は
第14回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント③	大規模災害時における対応と課題①	【予習】阪神・淡路大震災をもとに 【予習】東日本大震災の課題
第15回	相談援助技術の駆使する上でのリスクマネジメント④	大規模災害時における対応と課題②	【予習】熊本地震の課題 【予習】豪雨災害という視点
第16回			

テキスト	隨時、講義中に必要な資料を配布する。
参考書・参考資料等	テーマに沿って、その都度資料を配布する。
上記到達目標の評価の方法	講義への参加度合（発言や報告等）…80% 講義中に指定するレポート課題等…20%

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術実習指導 I
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	3年次秋学期
受講者制限	社会福祉士資格申請者

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
講師	竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 施設実習を通して、利用者のおかれている生活環境（施設・在宅）を理解し説明できる。 2. 施設実習を通して、施設を利用する利用者の人間理解を深め、記録することができる。 3. 実習施設での職員の多様な援助業務、職員間・職種間の連携等を学び施、自己洞察を深めて今後の社会福祉総合実習に生かすことができる。
授業概要	到達目標の達成に向け、実習指導では事前学習と事後の反省と振り返りを行う。事前学習は、社会人としてのマナー、施設実習に必要な基礎知識、日誌記録の意義と書き方、事前の実習先（施設）訪問を行い、実習計画の作成など実習の準備を進める。とりわけ、施設実習では生活を共にするなかでの人間理解、介護などの援助技術を修得する。事後は振り返りシートやアンケートにより個別指導を行う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	施設実習オリエンテーション、施設実習の意義と目的（施設実習ビデオ鑑賞含む）、実習ルール確認	【施設実習の意義 社会人としての実習ルール 人間理解】	予習：実習ルールを読む（60分） 復習：高校福祉志望動機レポート（60分）
第2回	高齢者施設についての基本的理解	【施設の援助業務 介護職の職務理解 職員連携】	予習：実習ガイドブックを読む（60分） 復習：施設での介護職の役割と仕事を考える（60分）
第3回	利用者の理解（高齢期に見られる特徴的な症状）①	【活動、認知症、環境、家族】	予習：配付資料により老人福祉施設の概要を読み事前に学ぶ（60分） 復習：それまでに学んだ福祉系科目を復習（60分）
第4回	介護保険制度の仕組みの理解①	【介護保険制度の仕組み】	予習：介護保険のパンフレットから 復習：介護保険のパンフレットから
第5回	介護保険制度の仕組みの理解②	【介護保険制度の特徴】	予習：介護保険のパンフレットから 復習：介護保険のパンフレットから
第6回	介護保険制度の仕組みの理解③	【介護保険制度の課題】	予習：介護保険のパンフレットから 復習：介護保険のパンフレットから
第7回	実習記録の書き方①	【日誌の書き方・振り返りと考察】	予習：与えられた宿題（60分） 復習：与えられた宿題（60分）
第8回	実習記録の書き方②	【実習の目的と計画 施設昨日利用者理解 職務理解】	予習：施設実習のイメージをつくる（60分） 復習：先輩の実習から4回生まである実習の流れをつかむ（60分）
第9回	実習先調べ・事前オリエンテーションの進め方①	【実習の具体化 実習施設調べ（理念沿革利用者）日課表作成】	予習：施設実習のイメージをつくる（60分） 復習：実習施設の種別・特徴（60分）
第10回	実習先調べ・事前オリエンテーションの進め方②	【実習の具体化 実習施設調べ】	予習：施設実習のイメージをつくる

		(理念沿革利用者) 日課表作成】	(60分) 復習：先輩の実習から4回生まである実習の流れをつかむ(60分)
第11回	実習先調べ・事前オリエンテーションの進め方③	【実習の具体化 実習施設調べ (理念沿革利用者) 日課表作成】	予習：テキストを通して自分の実習計画書を点検しイメージをもつ(60分) 復習：実習を通して何を学ぶか気持ちをアップさせる(60分)
第12回	実習計画書・事前オリエンテーションレポートを通して実習で何を学ぶか確認する	【実習計画案の作成①】	予習：何を学びたいのか(60分) 復習：学ぶ上での課題は(60分)
第13回	実習計画書・事前オリエンテーションレポートを通して実習で何を学ぶか確認する	【実習計画案の作成②】	予習：何を学びたいのか(60分) 復習：学ぶ上での課題は(60分)
第14回	実習計画書・事前オリエンテーションレポートを通して実習で何を学ぶか確認する	【実習計画案の作成③】	予習：振り返りシートに記載する(60分) 復習：何が課題なのかを分析する(60分)
第15回	まとめ	【実習先への連絡と実習ノート】	まとめ

テキスト	講義で随时指示・配布する。
上記到達目標の評価の方法	口頭での発表…60% 講義参加状況…40%

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術実習指導Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4年次春～秋学期
受講者制限	社会福祉士資格申請者

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
教授	鳥野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 施設実習を通じて、制度や法律と、利用者しえんとの関係が理解できる。 2. 実習先である機関で働くことを想定し、どのような知識や技能が必要となるのかを理解することができる。
授業概要	この講義は、すでに前半の社会福祉実習を経験したうえでの科目設定であることから、実習先機関に就職することを想定し、必要となる知識や技術の確認と、社会福祉士受験に向けた学習と実習活動という実勢との関係性が理解できるよう、グループ学習を経て、個別指導を行う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	社会福祉士としての業務と役割について学ぶ①	【社会福祉士の業務と役割①】	予習：前半実習の振り返り 復習：前半実習の課題確認
第2回	社会福祉士としての業務と役割について学ぶ②	【社会福祉士の業務と役割②】	予習：前半実習の振り返り 復習：前半実習の課題確認
第3回	理想とする社会福祉士の働き①	【理想の社会福祉士像に対し、いまのあなたに何が課題となっているのか①】	予習：社会福祉士像とは 復習：自己の課題
第4回	理想とする社会福祉士の働き②	【理想の社会福祉士像に対し、いまのあなたに何が課題となっているのか②】	予習：社会福祉士像とは 復習：自己の課題
第5回	実習先事業所の選定に向けた希望と課題①	【実習先事業所選定と希望】	予習：希望した理由 復習：そこでの課題
第6回	実習先事業所の選定に向けた希望と課題②	【希望する実習先事業所で求められるもの】	予習：希望した理由 復習：そこでの課題
第7回	実習先事業所の選定に向けた希望と課題③	【実習先事業所の概要】	予習：希望した理由 復習：そこでの課題
第8回	実習先事業所の確定とそれへの準備①	【実習先事業所の概要】	予習：実習先事業所の把握 復習：実習先事業所の課題
第9回	実習先事業所の確定とそれへの準備②	【実習先事業所の置かれている環境】	予習：実習先事業所の把握 復習：実習先事業所の課題
第10回	実習先事業所の確定とそれへの準備③	【実習先事業所の法制度面】	予習：実習先事業所の把握 復習：実習先事業所の課題
第11回	実習先事業所の確定とそれへの準備④	【実習先事業所で働くと仮定した場合】	予習：実習先事業所の把握 復習：実習先事業所の課題
第12回	記録の書き方と考察①	【記録の書き方①】	予習：記録とは 復習：何を書かないといけないのか
第13回	記録の書き方と考察②	【記録の書き方②】	予習：記録と説明責任 復習：説明上手になるには

第14回	記録の書き方と考察3	【記録の書き方③】	予習：事故を想定した記録の書き方 復習：記録と考察
第15回	まとめと課題	【就職すると仮定した場合】	予習：職場という環境 復習：社会福祉士として求めるもの
第16回	実習巡回指導①		予習： 復習：
第17回	実習巡回指導②		
第18回	事後実務指導		
第19回	実習の振り返り①		
第20回	実習の振り返り②		
第21回	実習の振り返り③		
第22回	実習報告書の作成①		
第23回	実習報告書の作成②		
第24回	個別支援計画の作成①		
第25回	個別支援計画の作成②		
第26回	個別支援計画の作成③		
第27回	グループスーパービジョン①		
第28回	グループスーパービジョン②		
第29回	実習報告会		
第30回	社会福祉士としてのスタート		

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術実習Ⅰ
講義区分	実習
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	3年次秋学期
受講者制限	社会福祉士資格申請者

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 烏野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	1. 実習施設の施設機能を理解し説明できる。 2. 実習施設の利用者の人間理解を深め記録することができる。 3. 実習施設での職員の多様な援助業務、職員間・職種間の連携等を学び施設における介護士の職務理解を理解し、自己洞察を深めて今後の実習に生かすことができる。
授業概要	高齢者福祉施設・障害者施設（居住型施設）で主に宿泊実習により、その施設の生活に参加し、利用者（高齢者・障害者）への理解を深めるとともにそこでの機能、役割、職務を理解する。くわえて介護職・福祉職の重要性を図る。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】
第1回	実習の目的 1. 実習施設の機能と役割について理解する。 2. 施設の一日の流れを理解し、ケア技術を学ぶ。 3. 生活と共にし、関わることや観察を通して利用者の理解とそのニーズを把握する。 4. 施設での介護職の職務理解をすすめ、自己洞察を深める。 5. 施設での安全及び保健について理解する。 概ね、最初の2～3日間は見学・観察実習施設機能、所属する集団の利用者や職員の名前を覚える。 基本的な日課の流れと仕事の流れを学ぶ。 次の3日目～8日目は参加実習とし、積極的に利用者と関わりケアを学ぶ。 利用者個々の援助方法を学ぶ。 利用者個々と関わることによって積極的にコミュニケーションを図り、利用者理解を深める。 利用者と関わることによって自己洞察を進める。 最後の2日間を部分実習 朝礼、活動の一部を立案実施	【実習先施設の理解】
上記到達目標の評価の方法		実習先からの評価…(50%) 提出物…(30%) 講義の参加状況…(20%)

[ウインドウを閉じる](#)

[シラバス参照](#)

講義名	社会福祉援助技術実習Ⅱ
講義区分	実習
基準単位数	3
必選区分	選択
配当年次	4年次春学期
受講者制限	社会福祉士資格申請者

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 竹澤 賢樹	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
教授	鳥野 猛	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標

①社会福祉援助技術実習Ⅰを踏まえ、より深く実習施設・機関の機能を理解し、説明できる。
 ②社会福祉援助技術実習Ⅰを踏まえ、異なる実習施設・機関の利用者の理解を深め、記録することができる。
 ③社会福祉援助技術実習Ⅰを踏まえ、異なる実習施設・機関の地域における役割を理解し、他機関他職種連携のあり方について理解し、実践できる。

授業概要

福祉施設・相談機関における15日間の実習を通して、利用者の権利を保障する相談支援の方法について体験的に理解する。

授業計画表

回	学習内容
第1回	実習の目標 <ol style="list-style-type: none"> 実習施設・機関の機能と役割について理解する 業務の一日の流れを理解し、職員の利用者とのかかわりについて理解する。 実習施設・機関における個別的なソーシャルワークの展開方法について体験的に理解する。 地域における施設・機関の役割について理解し、他機関他職種連携のあり方について理解する。 施設・機関におけるソーシャルアクションについて理解する。 <p>概ね、前半では実習担当者の説明を受け、施設・機関の役割を理解する。 基本的な施設・機関の業務や組織運営について理解する。 対象となる利用者の理解を深める。</p> <p>実習中盤では、利用者とのかかわりを通して、社会福祉士としての支援について実践する。 利用者のニーズや利用者を取り巻く環境について理解する。 利用者のニーズに基づく支援計画の作成と支援の展開について理解する。 必要な社会資源について理解する。</p> <p>実習の終盤では、実習目標に対する自己評価を行い、実習担当者の指導に基づき目標達成に向けて取り組む。 社会福祉士としての相談支援について考察を行い、まとめる。</p>

テキスト	必要に応じ資料を配布
参考書・参考資料等	同上
上記到達目標の評価の方法	評価票…(50%) 巡回指導、振り返り…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	社会福祉援助技術実習Ⅰ、社会福祉援助技術実習指導Ⅰ
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

